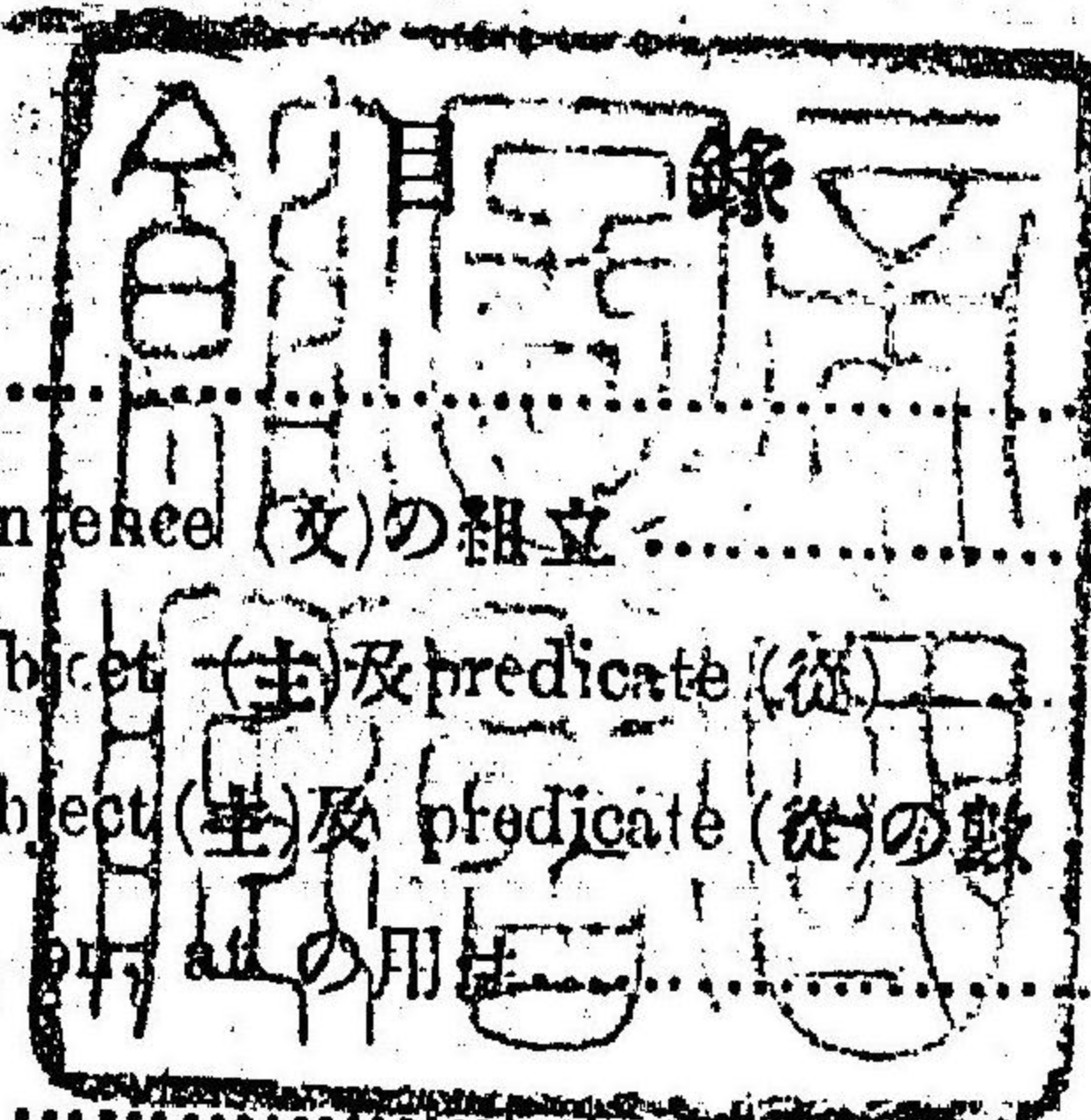


特 27

947

[1]



第一編 總論.....1

第一章 Sentence (文)の組立.....1

第二章 Subject (主)及 predicate (從).....1

第三章 Subject (主)及 predicate (從)の數.....3

前置詞 in, on, at の用法.....18

冠詞の用法.....19

第二編 Predicate (從)の用法.....18

第一章 To be の用法

第二章 To be の補成詞 (Complement).....23

第三章 To have の用法.....33

1. 冠詞, 接續詞の用法.....39

2. 疑問文の構成.....41

3. Of の用法.....42

4. This, that, の用法.....46

5. 物主格の構成.....47

6. 否定文の構成.....52

7. 疑問文の否定形.....53

8. Yes, no の用法.....53

第三編 The Tense (時).....61

第一章 現在 (Present tense).....61

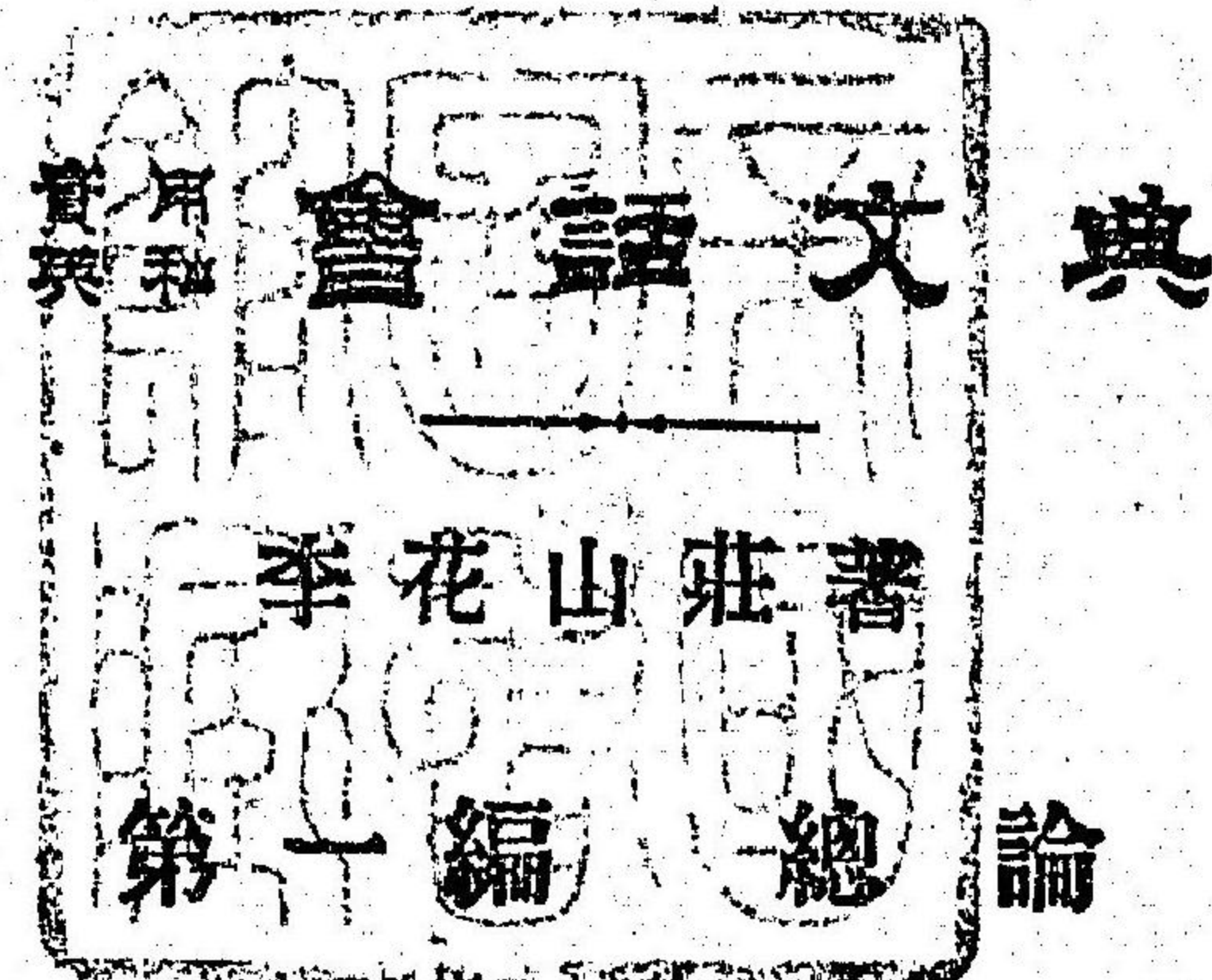




目的と補成 .....	62
他働詞と自働詞 .....	62
物主格代名詞の用法 .....	63
不定詞の用法 .....	64
形容詞句 .....	64
日本語の“の”に對する英語の前置詞 .....	64
第三章 疑問文 .....	79
第一節 To do の用法 .....	79
第四章 現在の進行形 .....	87
疑問辭 .....	88
前置詞 into, about, down, over, on の用法.....	89
第五章 十分現在 (present perfect tense) .....	97
前置詞 into, for の用法 .....	93
分詞 .....	98
第六章 十分現在の進行形 .....	106
關係代名詞.....	107
前置詞 of .....	112
第七章 不人稱代名詞 .....	118
名詞句 (noun phrase) .....	118
There .....	119
many と much.....	123

前置詞 in, at, for, of .....	125
接續詞 that .....	127
第八章 過去 (past tense)	
to be, to have, to do の變化.....	132
不規則働詞の變化 .....	133
Do の用法 .....	144
過去の進行形 .....	145
過去の疑問形及否定形.....	145
形容詞の比較.....	148
接續副詞 .....	152
前置詞 in, on, at, from, for, to, by, of, about, across, after, against, into, through, under, until, upon, with, within, along, before, behind, after, down, beneath, below, beside, beside, between, Without, .....	153
第九章 直說法十分過去.....	154





## 第一章 Sentence (文) の組立

第一 英語にては一の思想を完全に發表するものを Sentence (文) と稱し sentence の主即ち文題となるべきものを subject (主) と名け subject に就ていふことを predicate (從) と名く此二者は文の骨髄にして二者其一を欠けば完全なる思想を發表し能はざるなり

## 第二章 Subject (主) 及 predicate (從)

第一 英語にて subject となるべきものは日本語のは若しくはがの付くものに相當す例へば

犬は吠へぬ

花は咲けり

猫か眠る



此の三文に於て犬と花とははが付き猫はががが付く故に  
Subject なり

第二 英語にては物の名を **Noun** (名詞) といふ此の  
**Noun** は總て subject となることを得

第一の犬, 花, 猫は皆名詞なり

小兒等は遊びぬ

**Boys play.**

小兒等即ち **Boys** は **Noun** (名詞) にして subject なり

太郎は小刀を持てり

**Taro has a knife.**

次郎は學校へ行く

**Jiro goes to school.**

Taro と Jiro とは名詞なり

第三 日本語の 私, 汝, 彼人, 私等, 汝等, 彼人等,  
等の如き言詞は英語にて之を **Pronoun** (代名詞) と稱し名詞  
に代りて sentence (文) の subject となることを得

私は幸福なり

**I am happy.**

汝は善良なり

**You are good.**

彼は勉強する

**He studies.**

**I, you, he** は皆 pronoun (代名詞) にて subject なり  
Pronoun にて subject となるものは noun (名詞) と同じく日  
本語のはかがの付くものにして左に之を示さん

は, が

は, が

私 I

我等 we

汝 you

汝等 you

彼 he

彼女 she

彼等 they

其 it

名詞に代りて subject となるべきものは其他尙ほ多々ありと  
雖も今茲に説き難ければ後章に於て説明すべし

第四 **Predicate** となるべきものは 働詞 とて 働若  
しくは 有様 を示す言詞なり前例に於ける 吠へぬ, 咲け  
り, 眠れり, は總て働詞なり之を英語にて Verb (働詞) と  
いふ今此等を英語にて顯せば左の如し

Dogs **Bark.**

Flowers **Bloom.**

The cat **Sleeps.**

Bark, bloom, sleeps は皆 Verb (働詞) なり

### 第三章 Subject (主) 及 Predicate (従) の

數



第一 英語にては number (數)とて物の數を顯はすものあり noun (名詞)か二箇以上の物を顯はす時は言詞の終りに s を付すべし今之を下に示す

	單 數		復 數	
筆	pen	ペン	pens	ペンス
室	room	ルーム	rooms	ルームス
家	house	ハウス	houses	ハウセス
書物	book	ブック	books	ブックス
園	garden	ガーデン	gardens	ガーデンズ
馬	horse	ホース	horses	ホースズ
鳥	bird	バード	birds	バアヅ
雀	sparrow	スパロー	sparrows	スパローズ
机	table	テーブル	tables	テーブルズ
樹	tree	ツリー	trees	ツリース
帽子	hat	ハット	hats	ハッツ
石	stone	ストーン	stones	ストーンズ
川	river	リヴァー	rivers	リヴァース
湖	lake	レーキ	lakes	レーキス
犬	dog	ドッグ	dogs	ドッグス
松	pine	パイン	pinés	パインズ
竹	bamboo	バンブー	bamboos	バンブース
梅	palm	パーム	palms	パームズ

第二 名詞の語尾か ch,s,sh,x,z, 及び o にて終りたる名詞は es を附して復數を形成す

但し o の場合は其 o の前に 子音 が來るときは殊に然るものとす

	單 數		復 數	
教會	church	チャーチ	churches	チャーチズ
室庫	press	プレッス	presses	プレッセス
皿	dish	ヂッシュ	dishes	ヂッシュズ
刷毛	brush	ブラッシュ	brushes	ブラッシュズ
箱	box	ボックス	boxes	ボックスズ

但し ch の發音か く と響く時は單に s のみを附す

	單 數	復 數
王	monarch	monarchs

第三 名詞の語尾か “y” にて終り其前に子音ある時は y を i に變して其後に es を附すべし

	單 數		復 數	
話	story	ストリー	stories	ストリース
光榮	glory	グローリー	glories	グローリース

又語尾か “f” 或は “fe” の時は “f” 或は “fe” を “v” に變し而して後に es を附すべし

	單 數	復 數
盜賊	thief	シーフ
		thieves
		シーフズ



[ 6 ]

狼	wolf	ウルフ	wolves	ウルヴズ
犢	calf	カーフ	calves	カーヴズ
鬼	elf	エルフ	elves	エルヴズ

第四 名詞の綴りの間の母音を變して複數とするものあり

	單 數		複 數	
人	man	マン	men	メン
女	woman	ウーマン	women	ウイメン
足	foot	フート	feet	フィート
鵞	goose	グース	geese	ギーズ
鼠	mouse	マウス	mice	マイス
虱	louse	ラウス	lice	ライス
齒	tooth	トゥース	teeth	チース
豕	sow	ソウ	swine	スワケン

第五 Predicate (從) 即ち動詞の數は亦單複の二ありて subject (主) が單數の時は動詞も亦單數にせざるべからず subject (主) が複數の時は動詞も亦複數にせざるべからず而して動詞の單數は現在とて眼前目下のことを話す時は單數の物の名及び代名詞の he, she, it に限り動詞に s を附して用ゆ

今單數の例を下に示さん

1. 蜂は飛ぶ

[ 7 ]

2. 獅子は吼る
3. 牡鶏は啼く

主

從

- |             |         |
|-------------|---------|
| 1. The bee  | flies.  |
| 2. The lion | roars.  |
| 3. The cock | clucks. |

複數の例は左の如し

主

從

- |          |        |
|----------|--------|
| 1. Bees  | fly    |
| 2. lions | roar   |
| 3. cocks | cluck. |

單 語  
名 詞

複 數 の 部

小兒等	boys	ボーイズ
數匹の馬	horses	ホースズ
數羽の雀	sparrows	スパローズ
娘等	girls	ガアルス
數人	men	メン
兵士等	soldiers	ソールヂアス



樹木	trees	ツリース
數匹の牝牛	cows	カウス
數艘の船	ships	シツパス
山嶺	mountains	マウンテンズ
數猫	cats	キアツツ
友人等	friends	フレンヅ
數匹の象	elephants	エレファンツ
火	fires	ファイヤス
數多の星	stars	スターズ
櫻の樹	cherry-trees	チェリーツリース
數羽の鳥	crows	クロース

働 詞

複 數 の 部

帆去る	sail	セール
輝く	twinkle	ツキンクル
燃ゆる	burn	バアン
啼く(牛等の)	low	ロー
成長する	grow	グロー
咲く	bloom	ブルーム
飛ぶ	fly	フライ
叫ぶ	shout	シャウト

話す	speak	スピーク
泳ぐ	swim	スウイム
動く	move	ムーブ
働く	work	ワーク
歌ふ	sing	シング
來る	come	カム
啼く(猫の)	mew	ミュー
囀る	chirp	チアーブ
走る	run	ラン
鳴る	ring	リング
聳ゆる	rise	ライズ
遊ぶ	play	プレイ

第 一 練 習

- |            |            |
|------------|------------|
| (1) 小兒等は遊ぶ | (9) 牝牛は啼く  |
| (2) 馬は走る   | (10) 船が帆走る |
| (3) 雀は囀る   | (11) 山が聳ゆる |
| (4) 娘は歌ふ   | (12) 鐘が鳴る  |
| (5) 人は働く   | (13) 猫は啼く  |
| (6) 人が話す   | (14) 友人が來る |
| (7) 兵士が叫ぶ  | (15) 象が動く  |
| (8) 木が成長する | (16) 魚が泳ぐ  |



[ 10 ]

- |           |            |
|-----------|------------|
| (17) 鳥か飛ぶ | (19) 火か燃ゆる |
| (18) 櫻か咲く | (20) 星は燦めく |
- 
- |                     |                          |
|---------------------|--------------------------|
| (1) Boys play.      | (11) Mountains rise.     |
| (2) Horses run.     | (12) Bells ring.         |
| (3) Sparrows chirp. | (16) Cats mew.           |
| (4) Girls sing.     | (14) Friends come.       |
| (5) Men work.       | (15) Elephants move.     |
| (6) Men speak.      | (16) Fishes swim.        |
| (7) Soldiers shout. | (17) Crows fly.          |
| (8) Trees grow.     | (18) Cherry-trees bloom. |
| (9) Cows low.       | (19) Fires burn.         |
| (10) Ships sail.    | (20) Stars twinkle.      |

單 語  
名 詞

單 數 の 部

川	the river	リバー
烟	smoke	スモーク
風	wind	キンド
徳利	the bottle	ボトル

[ 11 ]

鉛	zinc	ジンク
雪	snow	スノウ
太陽	the sun	ゼサン
皿	a dish	エダツシ
家	the house	ゼハウス
月	the moon	ゼムーン

働 詞

單 數 の 部

輝く	shines	シヤインズ
燃ゆる	burns	バーンズ
昇る	rises	ライセズ
降る	falls	フォールズ
吹く	brows	ブロウス
上る	arise	アライズ
流れる	flows	フローズ
倒れる	falls	フォールズ
溶ける	melts	メルツ
破れる	breaks	ブレイクス
震へる	quakes	クエークス



[12].

第二練習

- |            |               |
|------------|---------------|
| (1) 月は輝やく  | (11) 人が還る     |
| (2) 太陽は昇る  | (12) 地が震ふ     |
| (3) 雪は降る   | (13) 動物が動く    |
| (4) 風が吹く   | (14) 人が困む     |
| (5) 烟が上る   | (15) ジョンは勉強する |
| (6) 家が燃ゆる  | (16) メリーは讀む   |
| (7) 皿が破れる  | (17) 教師は書く    |
| (8) 亜鉛が溶ける | (18) 赤子は坐る    |
| (9) 徳利が倒れる | (19) 鳥は叫ぶ     |
| (10) 河は流れる | (20) 娘は泣く     |

- |                       |                          |
|-----------------------|--------------------------|
| (1) The moon shines.  | (11) The man returns.    |
| (2) The sun rises.    | (12) The earth quakes.   |
| (3) Snow falls.       | (13) The animal moves.   |
| (4) Wind blows.       | (14) A man suffers.      |
| (5) Smoke arises.     | (15) John studies.       |
| (6) The house burns.  | (16) Mary reads.         |
| (7) A dish breaks.    | (17) The teacher writes. |
| (8) Zinc melts.       | (18) The baby sits.      |
| (9) The bottle falls. | (19) The bird shrieks.   |
| (10) The river flows. | (20) A girl weeps.       |

[13]

第六 人稱代名詞として予、彼、汝等の如きもの

は最も必要なれば其數を次に示す

	單數	複數
予	I	we
汝	you	you
彼	he	they.
彼女	she	
其	it	

雜題

單語  
名詞

水	water	ウォーター
地球	the earth	アース
死	death	デス
家僕等	servants	スアーヴァンツ
士官	officer	オフヒサア
英雄	The hero	ヒーロー
王	kings	キングス
蚯蚓	worms	ウヲームス



麵包	bread	ブレッド
体操	exercise	エキザーサイズ
鵞鳥	gooses	グーセズ
貴女	ladies	レデース
薔薇	roses	ローセズ
金剛石	diamonds	ダイヤモンド
鷲	eagle	イーグル

動詞

歩む	walks	ウォークス
死す	die	ダイ
行く	go	ゴー
注意する	care	ケア
知る	know	ノー
命令する	commands	コンマンズ
願ふ	wish	キツシュ
恐れる	fear	フィーヤ
言ふ	says	セツズ
信する	believe	ビリーヴ
望む	hope	ホープ
来る	comes	カムス
叫ぶ	cry	クライ

生活する	lives	リーブス
廻轉する	turns	ターンズ
考へる	think	シンク
疾走す	gallop	ガロツプ
流れる	runs	ランズ
花咲く	blossom	ブロッサム
支配する	rule	ルール
匍ふ	crawl	クロール
養ふ	nourishes	ナリツシエス
強める	invigorates	インヴイゴレート
泳ぐ	swim	スウイム
香ふ	smell	スメル
燦く	sparkle	スパークル
旋る	wheels	ホイールズ

- (1) 太郎は歩む
- (2) 彼は坐る
- (3) 余は行く
- (4) 水は流れる
- (5) 馬は疾走す
- (6) 雪は熔ける
- (7) 余は考ふ

- (8) 汝は來る
- (9) 地球は廻轉す
- (10) 彼等は生活す
- (11) 死か來る
- (12) 我等は叫ぶ
- (13) 我々は望む
- (14) 余は信す



[ 16 ]

- |             |               |
|-------------|---------------|
| (15) 小兒等は恐る | (23) 蚯蚓か匍ふ    |
| (16) 彼は言ふ   | (24) 麵麩は養になる  |
| (17) 家僕は願ふ  | (25) 運動は氣力を養ふ |
| (18) 士官は命令す | (26) 鵝鳥は泳ぐ    |
| (19) 猫は死す   | (27) 貴女は話す    |
| (20) 英雄は生れる | (28) 薔薇は薫ふ    |
| (21) 木か花咲く  | (29) 金剛石は輝く   |
| (22) 王か支配する | (30) 鷲か旋る     |

- |                      |                            |
|----------------------|----------------------------|
| (1) Taro walks.      | (14) I believe             |
| (2) He sits.         | (15) Boys fear.            |
| (3) I go.            | (16) He says.              |
| (4) The water runs.  | (17) Servant wishes        |
| (5) Horses gallop.   | (18) Officer commands.     |
| (6) Snow melt.       | (19) Cats die.             |
| (7) I think.         | (20) The hero cares.       |
| (8) You come.        | (21) Trees blossom.        |
| (9) The earth turns. | (22) Kings rule.           |
| (10) He lives.       | (23) Worms crawl.          |
| (11) Death comes     | (24) Bread nourishes.      |
| (12) They cry.       | (25) Exercise invigorates. |
| (13) We hope.        | (26) Geese swim.           |

[ 17 ]

- |                    |                        |
|--------------------|------------------------|
| (27) Ladies speak. | (29) Diamonds sparkle. |
| (28) Roses smell.  | (30) eagle wheels.     |



## 第二編 Predicate (従) の用法

### 第一章 To be の用法

第一 To be は日本語の“在る”、“居る”の意に相當し常に predicate (従)として用ゐらる此言詞は subject (主)に從ふて種々に變化す下表に之を示さん

To be

單 數	複 數
I am	we are
He is	you are
she is	they are
It is	
The boy is	The boys are

第二 日本語にて 彼は山に行けり の文に於ける “は” “に” は名詞の後に置て其後に來る言詞との關係を明らかにすれども英語にては之を前に置て其前に在る言詞との關係を表はす之を preposition (前置詞) と稱す此前置詞は文章をなすに最も必要なるものにして之れなくは更に意味を言顯はし能はさること多し今其最も必要なるものを順次説明せん

1. In は物の界内に在る有様を示す

彼は室内に在り

He is in this room.

2. On は物の表面を表はす

此書物は机上に在り

The book is on the table.

3. At は界或は位置の不明なるものに對する有様を示す

彼は自分の家に居る

He is at his house.

第一の例にて “in” は明らかに he なる人か室内に在りたるを示し第二の例にて on は book か机の上に在るを示し第三の例にて at は he なる人か家の中に居りしや或は家の周りに居りしや不明なるを示す

第三 是迄學ひたる名詞の前に the, A, An, 等の言詞あり之は冠詞とて英語にては大抵の名詞には附するものなり

1. A は日本語の 或る 一 のの意味に相當し單數の名詞に附す

2. An は A と同じ意味に用ゆ但し A は名詞の始か子音なる時に用ゐ An は始か母音なる時に用ゆ例令は

小供 A boy, 卵 An egg,



小女 A girl, 牡牛 An ox,  
但し子音にても h の音が響かざる時は An を附すべし例へは

時 An hour, 相續 An heir.

3. The は定まりたるもの 即ち日本語の この、  
その等の意味ある時に用ゆ鳥とか獸とか既に一つの族類  
を形成し居る時はまた the を附するものとす例へは馬は獸  
の一族類なるか故に horse には the を附す鷹は鳥の一族類  
なるか故に eagle には the を附す但し eagle にても horse に  
ても複数時は一般に the を附するに及ばず (時宜に  
由り之を附する二とあるも) 例へは

雲雀 the lark larks.  
狐 the fox foxes.

單 語  
名 詞

犬	dog	ドッグ
床	floor	フロア
椅子	bench	ベンチ
馬背	horse-lack	ホールスパック

林	woods	ウーツ
小屋	barn	バーン
玄関	entrance	エントランス
門	gate	ゲート
學校	school	スクール
練兵場	drill-ground	ドリルグラウンド
卵	egg	エッグ
銀行	bank	バンク
箱	box	ボックス
机	desk	デスク
牛肉店	beef-shop	ビーフショップ
數言詞	words	ワーズ
花園	garden	ガーデン
教場	school-room	スクールルーム
市	city	シティー
中央	centre	センター
端	end	エンド
隅	corner	コルナア
始	begining	ビギニング

練 習

(1) 彼は床上に在り



[ 22 ]

- (2) 汝は椅子の上に在り
- (3) 予は馬上に在り
- (4) 魚は水中に居る
- (5) 雀は林中に在り
- (6) 犬は小屋の中に居る
- (7) 予は玄関に居る
- (8) 小兒は門に在り
- (9) 汝は學校に在り
- (10) 兵士は練兵場に在り
- (11) 卵は箱の中に在り
- (12) 余は家に居る
- (13) 我々は園中に居る
- (14) 彼等は教場に居る
- (15) 銀行は市中に在り
- (16) 箱は机の所に在り
- (17) 机は中邊に在り
- (18) 家は端に在り
- (19) 牛肉屋は隅に在り
- (20) 此の語は初めに在り

- 
- (1) He is on the floor.
  - (2) You are on the bench.

[ 23 ]

- (3) I am on the horse back.
- (4) Fishes are in water.
- (5) Sparrows are in the woods.
- (6) The dog is in the barn.
- (7) I am at the entrance.
- (8) The boy is at the gate.
- (9) You are in the school.
- (10) Soldiers are in the drill-ground
- (11) An egg is in the box.
- (12) I am in the house.
- (13) We are in the garden.
- (14) They are in the school room.
- (15) The bank is in the city.
- (16) The box is at the desk.
- (17) The desk is at the centre.
- (18) The house is at the end.
- (19) The beef-shop is at the corner.
- (20) The words are at the begining

## 第二 To be の補成詞 (Complement)

第一 To be といふ動詞即ち此迄學ひたる **am, is, are** 等は不完全動詞とて其動詞のみにては十分意味を顯はす能



はさる故に其下には必ず **名詞**か**形容詞** (adjective) とて物を形容するもの若しくは **副詞** (adverb) とて働き、有様及性質を形容するものを置て其意味を完全に表出す前の練習に於て前置詞の **in, on, at** は其下に來る名詞と共に相合して副詞の用をなせるものなり之を **副詞句** (adverbial phrase) といふ今下に名詞形容詞及び副詞の例を示さん

梟は鳥なり

The owl is a bird.

A bird は **名詞** にして is の意味を補成したるものなり此の場合には補成の名詞は subject を同じものを指す即ち前例に於て bird は owl と同じものなり之を確定主格 (predicate nominative) といふ

野牛は馴れて居る

A goat is tame.

Tame は **形容詞** にして is の意味を補成したるものなり總て is の次に來たる **形容詞** は subject を形容するものにして is を除きて其形容詞を subject (主) の前に置き直せば明らかに其主を形容するものたるを知るべし前例に於て is を除きて tame を goat の前に置けば A tame goat (馴れたる野牛) となるべし此の補成の形容詞を **確定形容詞** (predicate adjective) といふ

彼は中に居る

He is in.

**In** は **副詞** にして is の補成詞なり

月は上に在り

The moon is up.

**Up** は **副詞** にして is の補成詞なり

雲雀は樹上に在り

The lark is on a tree.

**On a tree** は三字にて一句となし以て is の意味を補成す

是れ即ち **副詞句** なり

單 語

名 詞

紙鳶	the (a) kite	ゼ (エ) カイト
鼠	the rat	ラット
葡萄	grapes	グレープス
狼	wolf	ウルフ
牡牛	the (an) ox	ゼ (エン) オックス
空氣	the air	エーヤ
空	the sky	スカイ
球	the ball	ボール



[ 26 ]

鳥	bird	バード
帽子	hat	ハット
臥床	the bed	ベッド

形 容 詞

老ひたる	old	オールド
親切	kind	カインド
此の	this	ジス
馴れる	tame	テーム
或る (若干の)	some	サム
悪しく	bad	バッド
赤く	red	レッド
狡猾	sly	スライ
柔か	soft	ソフト
丈長く	tall	トール
喜ぶ	glad	グラッド
熟す	rip	リツプ
荒く	wild	ワキルド

副 詞

上に	up	アツプ
中に	in	イン

[ 27 ]

練 習

- |                |                |
|----------------|----------------|
| (1) 其は牡牛なり     | (11) 此帽子は古い    |
| (2) 其は鼠なり      | (12) 彼は丈長い     |
| (3) 鼠は空中に在り    | (13) 猫は寢床の上に在り |
| (4) 月は空中に在り    | (14) 球は柔らかだ    |
| (5) 鼠は狡猾なり     | (15) 太陽は上に在り   |
| (6) 彼等は葡萄なり    | (16) 太陽は赤くある   |
| (7) 葡萄は熟して居る   | (17) 此鳥は馴れて居る  |
| (8) 狼は荒くある     | (18) 或る犬は悪しくある |
| (9) 我々は中に居る    | (19) 彼は親切だ     |
| (10) あの人は喜んで居る | (20) 彼等は老人なり   |

- (1) It is an ox.
- (2) It is a kite.
- (3) The kite is in the air.
- (4) The moon is up in the sky.
- (5) The rat is sly.
- (6) They are grapes.
- (7) Grapes are ripe.
- (8) The wolf is wild.
- (9) We are in.
- (10) He is glad.



- (11) This hat is old.
- (12) He is tall.
- (13) The cat is on the bed.
- (14) The ball is soft.
- (15) The sun is up.
- (16) The sun is red.
- (17) This bird is tame.
- (18) Some dogs are bad.
- (19) He is kind.
- (20) They are old man.

譯ニ 人に物を尋ねる文を 疑問文 といふ疑問文は predicate (從) 即ち動詞の is を subject (主) の前に置きて構成す若し文に書す時は終に (?) を附し又口にて話す時は文の終りの音を張り上ぐべし例令へは

其は牝鶏の卵なりや  
Is it the egg of a hen?

練習

單語

名詞

梨

the pear

ペーヤ

書物	a book	ブック
薔薇叢	a rose-bush	ローズブッシュ
人形	doll	ドール
工夫	plan	プラン
種類	kind	カインド
印度牛	the zebu	ゼビユー
小羊	a lamb	ラム
手	hand	ハンド
鼠	the mice	マウス
穴	holes	ホールス
鷲	the eagle	イーグル
駱駝	the camel	キヤメル
動物	animal	アニマル
赤兒	the baby	ベビー
臂掛椅子	arm-chair	アームチェア
孫女	grand-daughter	グランドドーター
側	side	サイト

形容詞

小さき	little	リットル
立て	standing	スタンディング

(此語は分詞として動詞より導かれたる語なれども形容詞の働をなす故此處には之を形容詞の中に入れて置くこととせり)



要用なる	useful	ユーズフル
一層強き	stronger	ストロンガー
善良なる	good	グード
愛らしき	pet	ペット
奇麗なる	nice	ナイス
新しき	new	ニュー

副 詞

甚た	very	ベリー
----	------	-----

形容詞の句

人の	of a man	オブ エマン
牡牛の	of ox	オブ オックス

此の二句は形容詞句にして of a man を hand の下に附して hand を形容し of ox を kind に附して其 kind は何の種類なるやを顯はす以下各章に於て之を練習すべし

前置詞

近く	near	ニーヤ
の	of	オブ

Of といふ前置詞は日本語の の のみにあらず種々の意味あれども茲には説き難ければ後章に説明すべし

代名詞

代名詞の中に 余の、汝の、彼の、等の如く の の附くも

のあり之は所有は表はすものにして下に之を示す

	單 數	複 數
私の	my	our
汝の	your	your
彼の	his	their
彼女の	her	
小兒の	the boy's	the boys'

名詞の所有主たるを表はすには其名詞の後に 'S を附すべし即ち 小兒の といふ時は the (a) boy's とすべし又名詞が複數にて語尾に S がある時は 'S を附せずして單に (') 印のみを附すべし此の印は apostrophe と名く

- (1) 彼は丈か長ふ御座りますか
- (2) 其れは爪て御座りますか
- (3) あの人は小兒て御座いますか
- (4) 狼は荒ふ御座りますか
- (5) 此の鳥は馴れて居りますか
- (6) 此梨は味能くありますか
- (7) 其は新しき書物て御座りますか
- (8) 其は薔薇の叢て御座りますか
- (9) 其は美麗な人形で御座りますか
- (10) あれは貴君の御工夫ですか
- (11) 老犬は善良て御座いますか



- (12) 此の人等は老人て御座りますか  
 (13) 此の猫は床の上に居りますか  
 (14) 其は美麗な新しき書て御座りますか  
 (15) この印度牛は牝牛の種類て御座りますか  
 (16) 其は可愛小羊て御座りますか  
 (17) あの方は善良な人てせうか  
 (18) 其は人の手て御座りますか  
 (19) 鼠は自分の穴の中に居りますか  
 (20) 鷲は尤も強き鳥て御座りますか  
 (21) 駱駝は大層要用の動物て御座りますか  
 (22) あの方の犬は彼人の側に立つて居ります  
 (23) 赤兒は古き臂掛椅子の中に居りますか  
 (24) あの方の小さき孫等は那人の側に居りますか

- (1) Is he tall?  
 (2) Is it a kite?  
 (3) Are they boys?  
 (4) Is the wolf wild?  
 (5) Is the bird tame?  
 (6) Is the pear good?  
 (7) Is it a new book?  
 (8) Is it a rose-bush?

- (9) Is it a nice doll?  
 (10) Is that your plan?  
 (11) Are these old men?  
 (12) Are old dogs good?  
 (13) Is the cat on the bed?  
 (14) Is it a nice new book?  
 (15) Is the zebu a kind of ox?  
 (16) Is it a pet lamb?  
 (17) Is he a good man?  
 (18) Is it the hand of a man?  
 (19) Are the mice in their holes?  
 (20) Is the eagle the strongest bird?  
 (21) Is the camel a very useful animal?  
 (22) Is his dog standing near him?  
 (23) Is the baby in the old arm-chair?  
 (24) Are her little grand-daughters at her side?

### 第三章 To have の用法

第一 To have は 所有 の義にして日本語の 余は  
 書物を持つ、彼は用事あり、の持つ及びありに  
 相當す例へは



余は書物を持つ

I have a book.

彼は用事あり

He has a business.

の如し而して此語は **To be** と同じく其 *subject* に従ふて變化す即ち **Be** に於て **is** を用ゆる場合に **has** を用ゆれば可なり今下に之を示さん

單 數

I have

you have

he has

she has

it has

The boy has

複 數

we have

you have

they have

The boy have

此の **have** の次に來るものを *object* (目的)と稱す前例に於ける *book* 及び *business* は目的なり

單 語

名 詞

手長猿

ape

エープ

手

hands

ハンズ

鼠

mouse

マウス

牡牛

ox

オックス

角

horns

ホルンズ

罾

trap

トラップ

齒

teeth

チース

書物

books

ブックス

帽子

hats

ハツツ

容貌

complexion

コンプレキション

卵

eggs

エツグス

尾長猿

monkey

マンケイ

尾

tail

テール

試験

examination

エキザミチーシヨ

家族

family

ファミリー

員

members

メンバアース

鬚

beard

ビーヤド

單桅船

brig

ブリッグ

檣

masts

マスツ

顔

face

フェース

頸

neck

ネック

頭

head

ヘッド

上衣

coat

コート

杖

canes

ケーンズ



頁	pages	ページス
棒	stick	スティック
蓋	cover	カヴァー
<b>形 容 詞</b>		
奇麗なる	fine	ファイン
百	hundred	ハンドレッド
黒き	black	ブラック
此等	these	ジース
此の	this	ジス
長き	long	ロング
一人の	one	ワン
大なる	large	ラージ
圓き	round	ラオンド
二ツの	two	ツー
白き	white	ホワイト
老たる	old	オールド
八ツの	eight	エイト
四ツの	four	フォーア
美はしき	pretty	プレツチー
新しき	new	ニュー
數箇の	several	セベラル
多くの	many	メニ

**副 詞**

今日	today	トゥデー
悉皆	in all	イン オール

**練 習**

- (1) 猿には手かある
- (2) 猫は鼠を持ってをる
- (3) 牡牛には角かある
- (4) 畏には齒かある
- (5) 私は犬を持ってをる
- (6) あの人は猫を有つて居る
- (7) 私共は澤山の書物を有つて居る
- (8) 私は種々の帽子を有つて居る
- (9) 此の小兒は新しき服を有つて居る
- (10) 此の小女は美しき容貌だ
- (11) 此の巢には四箇の卵かある
- (12) 尾長猿は長き尾を有つて居る
- (13) 那の人は今日試験かある
- (14) 彼の人の家族は八人ある
- (15) 此の老人には長き白き鬚かある
- (16) 兩桅船には二本の檣かある



- (17) 吾人は二本の手を有て居る  
 (18) 君は大きな圓き顔だ  
 (19) 其は長き頸だ  
 (20) 一人の小供は頭に帽子を戴て居る  
 (21) 此の小兒は長き上衣を有つて居る  
 (22) 此等の人には手に杖を有つて居る  
 (23) 此の黒き書は悉皆で二百頁ある  
 (24) 三郎は手に長き棒を有つて居て  
 (25) 其は上に蓋かある

- (1) The ape has hands.  
 (2) The cat has a mouse.  
 (3) The ox has horns.  
 (4) A trap has teeth.  
 (5) I have dogs.  
 (6) He has a cat.  
 (7) We have many books.  
 (8) I have several hats.  
 (9) This boy has a new kite.  
 (10) The girl has a pretty complexion.  
 (11) The nest has four eggs.  
 (12) The monkey has a long tail.  
 (13) He has examination today.

- (14) His family has eight members.  
 (15) This old man has a long white beard.  
 (16) A brig has two masts.  
 (17) We have two hands.  
 (18) You have a large round face.  
 (19) It has a long neck.  
 (20) One boy has a hat on his head.  
 (21) This boy has a long coat.  
 (22) These men have canes in their hands.  
 (23) This black book has two hundred pages in all.  
 (24) Saburo has a long stick in his hand.  
 (25) It has a cover on it.

第三 病氣 にかゝつて居るといふ時は亦た此 **have** を用ゆ

1. 冠詞は病の名には大抵附するものとす
2. 接續詞とはニツ以上の言詞句若しくは文を結合するものにして **and** といふ接續詞は及ひ、且つ、而して等の意味に使用す



單 語  
名 詞

心持	feeling	フイーリング
痛	pain	ペーン
腫物	boil	ボイル
脛	leg	レッグ
風邪	cold	コールド
咽喉	throat	スロート
麻疹	measles	ミーズルズ
疥癬	itch	イツチ
友人	friend	フレンド
痘	small-pox	スモールポックス
熱病	fever	フイヴァー
胸	chest	チエスト
頭痛	head-ache.	ヘッドエーク
齒痛	tooth-ache	トゥースエーク

練 習

- (1) 私は頭痛か致して居る
- (2) 那の人は足か悪う御座います
- (3) 那の人は頭痛を煩つて居る
- (4) 松太郎は足へ腫物かできて居る

- (5) 私は風邪を引ひて咽喉が悪う御座います
- (6) 此の小女は麻疹をして居る
- (7) あの人力車夫は疥癬をかいて居る
- (8) 私の友人は痘を煩つて居る
- (9) 私は熱病を煩つて居る
- (10) 私は手か痛ふ御座ります

- (1) I have a head-ache.
- (2) He has bad feet.
- (3) He has a pain in his head.
- (4) Matsutaro has a boil on his leg.
- (5) I have a cold, and bad throat.
- (6) The girl has the measles.
- (7) That jinrikisha-man has the itch.
- (8) A friend of mine has the small-pox.
- (9) I have the fever.
- (10) I have a pain in my hand.

第三 物を問ふ時は Be と同じく **have** を *subject* の前に置くべし例へば

私は書物を持つや

*Have I a book?*



彼は小刀を有するや

Has he a knife?

の如し

第四 日本語の所屬を示す時の の は英語の “of”  
に相當す例令は

彼は花村の家來てす

He is a servant of Hanamura.

其は政府の權利です

It is right of the government.

單 語  
名 詞

目鏡	glasses	グラスセス
兄弟	brother	ブラザー
手巾	napkin	ナブキン
料理人	cook	クック
皿	plate	プレート
匙	spoon	スプーン
知り合	aquaintance	アックエンクンス
出版	edition	エディション
字書	dictionary	デクシヨナリー

厩	stable	ステーブル
二階	upper story	アツパーストリー
士官學校	Military Academy	ミリタリーアカデミー
休暇	holidays	ホリデース
正装	uniforms	ユニホームス
老人	old man	オールドマン
坐	seat	シート
背	back	バック
野牛	goat	ゴート
金	gold	ゴールド
發音法	pronunciation	プロナংশエーション
茶屋	tea-house	チーハウス
候補生	cadets	カデツツ
梅花	plum-flower	プラム フラワー
香	smell	スメル
話	story	ストーリー
主人	master	マスター
子息	son	サン

形 容 詞

此の	this	ジス
立派なる	handsome	ハンサム



あの	that	サット
大なる	great	グレート
善き	good	グッド
面白き	interesting	インタレストィング

(註) any といふ形容詞は日本語の **どれでも** に相當す

### 練 習

- (1) 那の人は兄弟かありますか
- (2) 野牛には長き角かありますか
- (3) 那の人等は何程か金いふを持つて居るか
- (4) あの人は善き子息を持つて居るか
- (5) 貴君は頭痛かするか
- (6) 貴君は何んな眼鏡でもお持ちですか
- (7) 那の料理人は此の家の主人の皿を持つて居りますか
- (8) 那の人は料理人の匙を持つて居りますか
- (9) 那の人は何んな手巾でも持つて居りますか
- (10) 此の家には善き厩かありますか
- (11) (此の)茶屋には二階かありますか
- (12) (あの)士官等は立派な正装を持つて居りますか
- (13) 貴君は面白き話を持つてお出ですか

- (14) 梅の花は善き香を持つて居りますか
- (15) 松太郎は發音法か上手ですか
- (16) 那の人は牡牛の背に坐を置いてありますか
- (17) 此の老人は頭に帽子を被つてみますか
- (18) 士官學校の候補生は澤山休暇かありますか
- (19) 貴君は横濱に澤山の知り合かありますか
- (20) 貴君は此字書の新奇に出版されたのをお持てですか

- (1) Has he a brother?
- (2) Has the goat long horns?
- (3) Have they any gold?
- (4) Has he a good son?
- (5) Have you a headache?
- (6) Have you any glasses?
- (7) Has that cook a plate of the master of this home?
- (8) Has he a spoon of the cook?
- (9) Has he any napkin?
- (10) Has this house a good stable?
- (11) Has the tea-house an upper story?
- (12) Have the officers handsome uniforms?
- (13) Have you an interesting story?
- (14) Has the plum-flower a good smell?



- (15) Has Matsutaro a good pronunciation?  
 (16) Has he a seat on the back of the ox?  
 (17) Has this old man a hat on his head?  
 (18) Have the cadets in the Military Academy many holidays?  
 (19) Have you many acquaintances in Yokohama?  
 (20) Have you new edition of this dictionary?

第五 This 及 *that* は *pronominal adjective* (代名形容詞) として “この” “その” と物を形容すると同時に又た “此は” “其れば” と代名詞となりて *subject* (主) に立ち *have* 及他動詞の次に來りて *object* (目的) となる例へは

此は犬である

**This** is a dog.

其は猫である

**That** is a cat.

此れ *subject* の例なり

私は此を持つて居る

I have **this**.

汝は其を持つて居る

you have **that**.

此れ *object* (目的) の例なり

第六 疑問文の構成は *to be* 及 *to have* に於て示せ

しものと異なるなし

第七 代名詞に物主格 (*possessive case*) といふものあり此は日本語の “私の” “汝の” “彼の” の “の” を含めるものにして下の表に示すか 如し又人の名若しくは名詞の時は語尾に 's を附すべし今下に之を示さん

私の	my	マイ
汝の (汝等の)	your	ユア
彼の	his	ヒズ
我々の	our	アワー
彼等の	their	ゼヤ
男兒の	boy's	ボーイス

“那の女の” の如く女の時は男の *his* に對して *her* (ハー) を用べし

## 單 語

### 名 詞

父	father	ファザー
母	mother	マーザー
小屋	barn	バーン
鉛筆	pencil	ペンシル



靴	shoe	シヨウ
上衣	coat	コート
林檎	apple	アップル
蜜柑	orange	オーランジ
斧	ax	アックス
椅子	chair	チェア
ランプ	lamp	ランプ
弓	bow	ボウ
箭	arrow	アロー
暖室爐	stove	ストーヴ
松の木	pine-tree	パインツリー

## 練習

- (1) 此は林檎である
- (2) あれは私の林檎である
- (3) 此は蜜柑である
- (4) あれは汝の蜜柑である
- (5) 此は鉛筆とペンである
- (6) あれは彼の古き黒き帽子である
- (7) あれは彼の靴と雲雀である
- (8) 此は私の白き犬と黒き猫である
- (9) 此は彼女の長き鉛筆と短きペンである

- (10) あれは鼠と猫と犬である
- (註) 二個以上の言詞を結合するには最後の二箇のみ and を用ひ他は言詞と言詞との間に、(コンマ)を附すべし
- (11) 此は男児の書物と小女のペンである
- (12) 此は太郎の靴と次郎の上衣である
- (13) あれは権兵衛の斧と松の木で御座ります
- (14) 此は彼女の新しき帽子と彼の古き上衣である
- (15) 此は彼の古き椅子と新しき暖室爐である
- (16) 其は私の父のランプと斧で御座ります
- (17) 此は汝の母の帽子と靴である
- (18) あれは善き家及び小屋なり
- (19) 此は人力車である而してあれは牝牛である
- (20) 此は弓である而してあれは矢である
- (21) 此は巢である而してあれは靴と卵と箱である

- (1) This is an apple.
- (2) That is my apple.
- (3) This is an orange.
- (4) That is your orange.
- (5) This is a pencil and a pen.
- (6) That is his old black hat.



- (7) That is his hen and lark.
- (8) This is my white dog and black cat.
- (9) This is her long pencil and short pen.
- (10) That is a rat, cat and dog.
- (11) This is the boy's book and the girl's pen.
- (12) This is Taro's hat and Jiro's coat.
- (13) That is Gonbei's ax and pine-tree.
- (14) This is her new hat and that is his old coat.
- (15) This is his old chair and new stove.
- (16) That is my father's lamp and ax.
- (17) This is your mother's hat and shoe.
- (18) That is a good house and a barn.
- (19) This is a jinrikisha and that is an ox.
- (20) This is a bow and that is an arrow.
- (21) This is a nest and that is a hen, an egg and a box.

第六 This の複数は These にして that の複数は those なり

單 語

名 詞

星

stars

スターズ

雉子	pheasants	フェザンツ
蛇	serpents	サアペンツ
柏	oaks	オークス
松	pinés	パインズ
鶯	thrushes	スラツシセス
錢	moneys	マネース
勘定帳	account books	アツカオントブックス
戸	door	ドーア
窓	windows	キンドース
野菜	vegetables	ヴェジタブルス
魚	fish	フィッシュ
鳥籠	cages	ケージス
鸚鵡	parrots	パロツツ
杉	cedars	シーダース
草苺	strawberries	ストロベリース

形 容 詞

囀る

singing

シンギング

練 習

- (1) われらは星である
- (2) 此等は雉子と蛇である



- (3) 此等は柏及び松なり
- (4) 此等は弓及び矢なり
- (5) あれらは善く囀る鶯である
- (6) 此等は貨幣と勘定帳である
- (7) 此等は戸及び窓なり
- (8) 此等は野菜と魚で御座ります
- (9) あれらは籠と鸚鵡で御座ります
- (10) 此等は杉と草莓で御座ります

- (1) Those are stars.
- (2) These are pheasants and serpents.
- (3) These are oaks and pines.
- (4) These are bows and arrows.
- (5) Those are good singing thrushes.
- (6) These are coins and those are accounts books.
- (7) These are doors and windows.
- (8) These are vegetables and fish.
- (9) Those are cages and parrots.
- (10) These are cedars and strawberries.

第六 <sup>ウチケン</sup>否定文 を組立つるには **to be, to have** 若しくは他の動詞の後に **not** といふ副詞を添ふべし例へば  
其は小刀ではありません

That is **not** a knife.

此は肉刺てはありません

This is **not** a fork.

但し通常の會話には **is not** を **isn't** (イズント) に縮めて用ゆ

第七 疑問文 を <sup>ウチケン</sup>否定 になさんとするには動詞を始めに置き次に **subject** を置き其次に **not** を置くべし

此は悪ひ酒ではありませんか

Is this **not** bad sake?

あの方は良き馬を持ちませんか

Has he **not** a good horse?

第八 人の問に返答する時“然”なれば **yes** (イエス) と答へ“否”なれば **no** (ノー) と答ふ然れども此の **yes** 及び **no** は日本語の“然り”及び“否”を使用する場合とは其の趣を異にするものにして日本語にて

あなたは牛肉がお好ではありませんか

と問へば其人若し肉が嫌ひなれば

左様好ではありません

と答へ肉が好なれば

否好です

と答ふ英語にては全く之と異にして“ありません”といふ時は **no** を用ひ“です”といふ時は **yes** を用ゆ例へば



此はペンですか

Is this a pen?

否ペンではありません

no, it is not a pen.

此等は鉛筆でありますか

Are these pencils?

然り此等は鉛筆です

yes, these is pencils.

となる故に not の附く答への文には no を用ひ not の附かざる文には yes を用ゆることゝ知るべし但し never, neither...nor, no などのある時は not と同じことゝ知るべし

單 語  
名 詞

葱	onion	アニヤン
キャベツ	cabbage	キャツページ
肉	meat	ミート
牛肉	beef	ビーフ
羊肉	mutton	マトン
鹿肉	venison	ベニズン

豚肉	pork	ポルク
ラカン	ham	ハム
雞鷄	chicken	チウケン
鹽	salt	ソルト
油	oil	オイル
菓子	cake	ケーキ
砂糖	sugar	シュガー
茶	tea	チー
葡萄酒	wine	ワイン
麥酒	beer	ビーヤ
焼麵包	toast	トースト
馬鈴薯	potato	ポテト
大根	radish	ラヂツシ
胡瓜 <sup>ワカ</sup>	cucumber	キューカンバー
茄子	egg-plant	エッグプラント
苧	young bamboo	ヤング バンブー
甜瓜 <sup>メロン</sup>	melon	メロン
西瓜	water-melon	ウオーターメロン

形 容 詞

或る some サム

此の形容詞は日本語の“若干”の意味にして不定の數を示



す  
 或る any  
 此言詞は“何れでも”の意味にして some とは其意義自ら異なれり some の方は確定の文に使用すれども any の方は否定の文に使用す又疑問の時 any を使用す  
 奇麗なる pretty フレツチー  
 少許の little リツトル  
 大なる large ラージ  
 少もなき no ノー

接 續 詞

兩方共に both.....and ボツス.....エンド  
 何チラもなき neither.....nor ニーザー.....ノーア  
 此の接續詞は 否定に 文字を結合するものなり  
 此の語の反對即ち否定にあらざる接續詞は下の言詞なり  
 其れか此れか何チラか either.....or イーザー.....オーア

練 習

- (1) 其は葱ですか
- (2) 左様です其は葱です
- (3) 此等はキャベツですか

- (4) ろうです此等はキャベツであります
- (5) 其は肉で御座りますか
- (6) 左様で御座ります其は肉で御座ります
- (7) あの人は何程か牛肉を持つて居りますか
- (8) イエ.あの人は少しも牛肉を持ちません
- (9) 貴君は何程か羊肉をお持ですか
- (10) ハイ.私は少しは持つて居ります
- (11) 此等は鹿肉と豚肉でありますか
- (12) イエ.此等は鹿肉でも羊肉でもありません
- (13) 貴君は何程かラカンをお持なさいますか
- (14) 否.私は少しもラカンを持ちません
- (15) 其は雛鶏ではありませんか
- (16) ハイ.其は雛です
- (17) 其は鹽ですか砂糖ですか
- (18) ハイ.其等は鹽と砂糖です
- (19) 貴君はいくらか油をお持ちですか
- (20) ハイ.私は少許の油を持つて居ります
- (21) 彼の人は菓子と茶を持つて居りますか
- (22) イエ.彼の人は菓子も茶も持ちません
- (23) 其は葡萄酒ですかビヤですか
- (24) 否.其は葡萄酒でもビヤでもありません
- (25) 彼の女は焼麴麩. 馬鈴薯. 及大根を持つて居りませ



うか

- (26) ハイ. 彼の女は焼麴麩も馬鈴薯も大根も持つて居りますか
- (27) 其は筍子で御座いますか
- (28) そうです. 其は奇麗な筍子です
- (29) 此等は胡瓜・茄子・甜瓜及西瓜で御座いますか
- (30) 左様で御座います. 此等は大きな西瓜と小き茄子と大きな甜瓜と小き胡瓜で御座います

(注意) 總て三箇以上の名詞を接合する時は一々名詞と名詞の間に接續詞の *and* を置くを要せず但し *and* の代りに(,)コンマを附し最後の名詞と其前に来る名詞の間にも *and* を置くべし例へば

其は鼠と猫と犬と馬なり

なる文を

It is a rat, a cat, a dog *and* a horse.

とするが如し又 *and* にて接合する時と(,)コンマを要せざるなり

- (1) Is it an onion?
- (2) Yes, it is an onion.
- (3) Are these cabbages?
- (4) Yes, these are cabbages.

- (5) Is that a meat?
- (6) Yes, that is a meat.
- (7) Has he some beef?
- (8) No, he has no beef.
- (9) Have you any mutton?
- (10) Yes, I have some mutton.
- (11) Are those venison and pork?
- (12) No, those are not any venison and pork.
- (13) Have you some ham?
- (14) No, I have no ham.
- (15) Is it not a chicken?
- (16) Yes, it is a chicken.
- (17) Is it either salt or sugar?
- (18) Yes, those are salt and sugar.
- (19) Have you any oil?
- (20) Yes, I have a little.
- (21) Has he some cake and tea?
- (22) No, he has neither cake nor tea.
- (23) Is it either wine or beer?
- (24) No, it is neither wine nor beer.
- (25) Has she toast, potato and radish?
- (26) Yes, she has toast, potato and radish.



- (27) Is it a young bamboo?  
 (28) Yes, it is a pretty young bamboo.  
 (29) Are these a cucumber, an egg-plant, a melon and a watermelon?  
 (30) Yes, these are a large water-melon, a small egg-plant, a large melon and a small cucumber.

## 第二編 The Tenses (時)

第一 The Tenses (時) とは動詞の特性にして働き或は有様の 現在なるか 或は 過去なるか 或は 未來なるかを 表示す是迄學びたる動詞は皆現在の働或は有様を表はせり

第二 The Tenses (時) に六あり 曰く 現在 (present) 曰く 十分現在 (present perfect tense) 曰く 過去 (past tense) 曰く 十分過去 (past perfect tense) 曰く 未來 (future tense) 曰く 十分未來 (future perfect tense) 是れなり

### 第一章 現在 (present tense)

第一 事物の性質を表はすには現在を用ゆ例ば  
 金は貴金屬なり  
 Gold is a precious metal.

第二 習慣を表はすにも現在を用ゆ例へば  
 六月には雨多し  
 It rains much in June.

第三 事實を表はすにも現在を用ゆ例へば  
 あの人ハ士官ナ  
 He is an officer.



詳四 是迄學びたる **to be** 及 **to have** は皆其下に 補成詞 (Complement) を取りて其意味を十分に顯はしたり他の動詞も亦た 補成詞に 名詞, 代名詞, 形容詞 若しくは 副詞 を取りて以て其意味を助く而して此の 補成詞は日本語の “で” “に” “を” といふてにをばの附く者にして “を” の附くものは總て名詞にして別に之を目的 (object) といひ其動詞を他動詞 (transitive verb) と稱す “に” の附く名詞の時も亦た他動詞 (transitive verb) なり

私はペン を 持つて居る

*I have a pen.*

A pen は を といふてにをばを有するが故に **have** は 他動詞 (transitive verb) なり總て **have** は 助動詞 (後に説明す) に使用する外は 他動詞 (transitive verb) なりと知るべし又

彼は書籍 を 私 に 呉れた

*He gives me a book*

といふ時は **book** は **give** の目的なり **me** も亦た **gives** の目的なり然れども何を呉れたかといへば書籍を呉れたかといひて **book** は **give** に直接の關係を有し書を誰に呉れたかといへば私に呉れたといつて **me** の方の關係は **book** に比べれば弱し故に **me** 即ち日本語の “に” のてにをばの附

く名詞を 間接目的 (indirect object) と稱し を の附く名詞を 直接目的 (direct object) と稱す

で 若しくは てにをば を有せざる形容詞若しくは名詞は之を第一編第二章に於て説明したれば重て之を説明せず

第五 代名詞の 目的 は下の如し

	單 數	復 數
私を、に	me	us
汝を、に	you	you
彼を、に	him	} them
彼女を、に	her	
其を、に	it	

**This, that** 及び其複數形なる **these, those** は變形せずして **subject** 並に **object** (目的) に用らる又 物主格 (possessive case) の代名詞 **is my, our, your, his, her, their,** 等を目的として使用する時は **my** と **his** と **us** とを除く外他は皆な語尾に **'s** を附すべし

私の	my	mine	マイン
我々の	our	ours	アワース
汝(等)の	your	yours	ユアース
彼の	his	his	ヒズ
彼女の	her	hers	ハース
其の	its	its	イツ



彼等の their theirs ゼアス

第五 To といふ前置詞を具へたる動詞は之を不定詞 (infinitive) と稱し名詞の代りをなし動詞の subject となり又は object (目的)となることを得例へば

讀書するは善きことなり

To read the book is good.

To read は名詞の代りにして subject なり

第六 名詞を形容するに普通の形容詞のにあらすして形容詞句 (adjective phrase) といふものありて普通の形容詞と同じ働をなす此の形容詞句 (adjective phrase) を組立するには名詞に前置詞を附して構成す但し其名詞を形容詞又は他の形容詞句を以て形容するを得形容詞句の場合の前置詞は重に日本語ののといふてにをはの附くものなり例へば

我々は月の光に乗じて川に舟を浮べたり

We sail on the river by the light of the moon.

Of the moon は形容詞句にして light を形容す

日本語ののといふてにをはは英語の of のみにあらす左に之を示さん

東京の家

The house in Tokyo

戸の鍵

A key to the door.

水戸の魚

The fish from Mito.

我々の海邊の小屋

Our cottage by the sea-side.

豪勇の人

A man of Courage.

有名の婦人

A woman of distinction.

三角の帽子

A hat with three-corners.

此時の人民

People at this time.

山上の家

The house on the hill.

上例に於けるが如し日本語にては何れも皆の、と書すべきを英語には種々の言詞を用ゆ今其意義を説かんはのが

1. 内の といふ意味ある時は in に譯すべし
2. 表面に接する 意の時は on に譯すべし
3. 界の不明なる 意の時は at に譯すべし
4. 離るゝ 意味の時は from に譯すべし



5. 一致適合 の意味の時は to に譯すべし
6. 側の の意味の時は by に譯すべし
7. 所有の 意味但し日本語の のである といふ意義の時は with に譯すべし
8. or は多くの場合に の に譯す
9. 前の といふ時は before に譯すべし
10. 後の といふ時は behind に譯すべし

(註) 前置詞の by は日本語の此時に於ての 於て と譯  
することあり

To は又 方向 を示す意味に使用し日本語の へ 若し  
くは に に相當す

又日本語の 爲め といふ意義にも用ゆ

With は 器械 とするの意味あり日本語の 以て に當る

第七 While といふ副詞は接續副詞と稱し其文中の働  
若しくは状態を形容すると同時に其の導く所の文を他の本  
文に 結合 する働を有す之を 接續副詞 (conjunctive  
adverb) と稱す

## 單 語 名 詞

啄木鳥	woodpecker	ウードベツカー
穴	hole	ホール
對	pair	ペーヤ
足趾	toes	トース
足	foot	フート
蟲	insects	インセクツ
害	harm	ハーム
前	front	フロント
後	behind	ビハインド
爪	claws	クロース
鷲	eagle	イーグル
小舟	boat	ボート
池	pond	ポンド
糸	string	ストリング
舵	helm	ヘルム
鳥	wild-ducks	ワイルドダックス
時	time	タイム
首府	capital	カピタル
學生	scholars	スコラース



英語	English language	イングリッシュ ラン
		ゲージ
種	seeds	ジーツ
床	bed	ベッド
熊	bear	ベア
草	grass	グラス
植物	plants	プランツ
根	roots	ルーツ
花	flowers	フラワース
日	day	デー
林檎	apples	アップルス
梨	pear	ペアー
畫像	figures	フィギュアス
石板	slate	スレート
紙	paper	ペーパー
駱駝	camel	キヤメル
頸	neck	ネック
体	body	ボデー
荷物	load	ロード
背中	back	バック
鳥	owl	オール
暗	dark	ダーク

物	things	シングズ
机	desk	デスク
街道	streets	ストリート
礫	gravels	グラヴェルス
西	west	ウエスト
東	east	イースト
目	eye	アイ
荷物	pack	バック
心	mind	マインド
側	side	サイド
學問	learning	ラーニング
今朝	this morning	ジス モーニング
汲 <sup>ベ</sup> 桶	bucket	バケツ
櫛	oak	オーク
井戸	well	ウェル
羽	wings	ウイングス
道	road	ロード
國	country	カントリー
兄弟	brother	ブラザー
上衣	coat	コート
藪	bush	ブッシュ
列車	train	トレイン



鐵道	railway	レールウエー
乗客	passengers	パツセンジャース
池	pond	ポンド
麓	foot	フート
佛寺	buddhist temple	ブヂスト テンブル
士官學校	Military Academy	ミリタリー アカデ ミー
參謀本部	General staff office	ゼネラル スタッフ オフィース
竹藪	bamboo-thicket	バンブー シツケツト
竹	bamboo	バンブー
光	light	ライト
王	king	キング
女王	queen	クween
夜	night	ナイト
蝸牛	snail	スナイル
木葉	leaves	リーヴス

働 詞

従ふ	follows	フオロース
試みる	tries	トライズ
爲す	do	ヅー
置く	puts	プツツ

保つ	keeps	キープス
住む	live	リヴ
置く	lay	レー
讀む	read	リード
學ぶ	learns	ラーンス
蒔く	sow	ソー
飛ばす	flies	フライス
與へる	gives	ギーヴス
書く	write	ライト
荷ふ	carries	キャリース
見る	see	シー
歩む	walks	ウォークス
没する	sets	セツツ
行く	goes	ゴース
駈け出す	springs	スプリングズ
懸かる	hangs	ハングズ
培養す	nourishes	ナリツシユス
歌ふ	sings	シングス
呼ぶ	call	コール

形 容 詞

結付けたる	tied	タイド
敷かれる	paved	ペーヴト







興ふ

- (9) 彼は石板と紙に畫像を畫く  
 (10) 駱駝は長き頸と小さき頭と強健なる  
 体とを持つて居ります  
 (11) 馬は背に重き荷物を運ぶ  
 (12) 梟は暗中に物を見る  
 (13) 彼の父は机の上で手紙を書て居る  
 (14) あの鳥は啄木鳥で御座ります  
 (15) 啄木鳥は木に穴を造らんと盡力せり  
 (16) 啄木鳥は足毎に足趾の二對を有せり  
 (17) 此等の蟲は樹木に大なる害をなします  
 (18) 多くの鳥は前に三つの指を有し後に一本を有す  
 (同じ言葉の重なる時は後の方を畧すべし)  
 (19) 鷲の爪は猫の爪の如くに鋭く曲つて居ります  
 (20) 小兒は池の水にて舟を浮べたり  
 (21) 彼は舟に結付けられたる長き糸を保つ  
 (22) 舵の用法は舟を案内するが爲めなり  
 (23) 鳧は大概の時は水上に住みます  
 (24) 總ての鳥は巢の中に卵を生む  
 (25) 日本の首府は東京なり  
 (26) 東京は又日本中の最も大なる都府なり  
 (27) 我々の町の街道は礫を以て敷かれて居る

- (28) 殆んど總て我々の國の大なる市の家々  
 街道は瓦斯の光にて立派で御座ります  
 (29) 私は西に於て輝たる赤き星を見る  
 而して時としては東に其を見る  
 (30) 彼は背中に荷を以て強健に沿ふて歩む  
 (31) 太陽は東に昇り而して西に没す  
 (32) 月及び星は夜るに於て光を出す  
 (33) 地球が太陽の圍りを行くと同時に  
 月は地球の圍りを行く  
 (34) 我々は晝の王と太陽を呼び而して  
 月を夜の女王と呼ぶ  
 (35) 蝸牛は卵より生る而して植物及木の葉の中に住む  
 (36) 華麗なる臥床に横臥することは愉快なり  
 (37) 熊は草の臥床より駈け出せり  
 (38) 學問は心の目なり  
 (39) 櫂の釣柄か井戸の中に懸かつて居る  
 (40) 鷺の羽は大層強う御座ります  
 (41) 田舎の道は大層泥濘で御座ります  
 (42) 甲州の葡萄は大層甘う御座ります  
 (43) 白き上衣の人は私の兄弟です  
 (44) 太陽の光線は植物を培養す  
 (45) 籠中の鳥は快く囀ります



- (46) 鐵道の列車は 200 の乗客を有せり  
 (47) 山の麓の池には多くの水あり  
 (48) 士官學校の後の佛寺は洞雲寺だ  
 (49) 參謀本部の表門は大層立派だ  
 (50) 澤山の雀か家の後の竹藪の中に居る

- (1) I have a small ball  
 (2) The scholars read many books.  
 (3) He learns English language in this school.  
 (4) A gentle cow follows the boy.  
 (5) We sow good seeds in the garden.  
 (6) We wish to produce nice plants, and roots, and flowers.  
 (7) Matsutaro flies his kite one very windy day.  
 (8) Taro gives you ten apples, and I give you six pears.  
 (9) He writes figures on the slate, on the paper also.  
 (10) The camel has a long neck, a small head, and a stout body.  
 (11) The horse carries a heavy load on its back.  
 (12) Owls see things in the dark.  
 (13) His father writes letters on his desk.  
 (14) That bird is a woodpecker.

- (15) The woodpecker tries to make a hole in the tree.  
 (16) The woodpecker has two pairs of toes on each foot.  
 (17) These insects do great harm to the trees.  
 (18) Most birds have three toes in front and one behind.  
 (19) The claws of the eagle are sharp and hooked like a cat's.  
 (20) The boy puts his boat on the water in the pond.  
 (21) He holds a long string tied to the boat.  
 (22) The use of the helm is to guide the ship.  
 (23) Wildducks live most of the time on the water.  
 (24) All birds lay their eggs in nest.  
 (25) The capital of Japan is Tokyo,  
 (26) Tokyo is also the largest city in Japan.  
 (27) The streets of our cities are paved with gravels.  
 (28) The houses and streets in nearly all our large villages and cities are splendid with gas-light.  
 (29) I see a bright red star in the west, and sometimes in the east.  
 (30) He walks along stoutly with his pack upon his back.  
 (31) The sun rises in the east, and sets in the west.  
 (32) The moon and stars give light by night.  
 (33) The moon goes round the earth while the earth goes round the sun.



- (34) We call the sun king of the day, and the moon the queen of the night.
- (35) The snail comes from the egg, and lives on the leaves of plants and trees.
- (36) To lie on a flowery bed is pleasant.
- (37) The bear springs from his bed of grass.
- (38) Learning is the eye of the mind.
- (39) An old bucket of oak hangs in the well.
- (40) The wings of the eagle are very strong.
- (41) Roads in the country are often muddy.
- (42) Grapes from Keshū are very sweet.
- (43) The man with a white coat is my brother.
- (44) The light of the sun nourishes plants.
- (45) The bird in the bush sings sweetly.
- (46) The train on the railway has 200 passengers.
- (47) The pond at the foot of the mountain has much water.
- (48) The Buddhist temple behind the Military Academy is Donnji.
- (49) The front gate of the General staff's office is very splendid.
- (50) Many sparrows are in the bamboo thicket behind the house.

### 第三章 疑問文

第二 現在の疑問文を組立つるには *to be, to have* の働詞を除くの外 助働詞 (*auxiliaries*) とて働詞の意味の不足を補ふ言詞の力を借るものとす此助働詞は *do, may, can* 等なり

#### 第一節 *to do* の用法

第一 *To do* を以て疑問文を組立てるには *do* を文の先頭に出たし其次に *subject* を置き其次に働詞の複数形を置くべし *do* は *be*, と同しく變格にして *be* の *is* を用ひ *have* の *has* を用ゆる場合に *does* を用ゆる下表に之を示さん

I	} do	he	} does
we		she	
you		it	
they		the boy	
the boys			

第二 否定の疑問を組定るには始めに *do* を置き次に *subject* を置き次に *not* を置くこと *be, have* と同し



單 語  
名 詞

名	name	ネーム
芽	buds	バツツ
杖	staff	スタッフ
橇	sled	スレツド
料理	cooking	クーキング
道	way	ウエ
顔	face	フェース
橋	bridge	ブリツジ
流	stream	ストリーム
形	shape	シエーブ
烟筒	chimneys	チムニース
窓	windows	ウキンドース
香	odors	オードルス
英人	English-men	イングリツシユメン
燄	flames	フレームス
家根	roof	ルーフ
箍	hoop	フープ
場所	scene	シーン
春時	spring-time	スプリング タイム

廊下	piazza	ピアザ
玄関	entrance	エントランス

形 容 詞

歐羅巴風の	European	ユーロピアン
奇妙な	peculiar	ペキユリアル
芳はしき	sweet	スウイート
閑静なる	quiet	クワイエット

動 詞

愛する	love	ラヴ
要する	need	ニード
好む	like	ライキ
通する	fit	フィット
鞭つ	whip	ウイップ
記憶する	remember	レメンバム
注目する	notice	ノーチース
欲する	want	ラント

副 詞

左様に	so	ソー
速やかに	fast	ファスト



## 前置詞

如く like ライク

## 不定詞

居ること to be ツービー

## 練習

- (1) 貴君は東京にお住なされますか
- (2) 係<sup>ヲ</sup>蹄<sup>ヲ</sup>で鼠と二十日鼠か捕かまりますか
- (3) 貴君はあの人<sup>ノ</sup>名を御存しですか
- (4) 君は小舟の中の人を見たか
- (5) 君は其の芽を見たか
- (6) 君はあの馴れた鳥を見たか
- (7) 彼等は林中に居ることを恐れるでせうか
- (8) 君は歩くに杖か入用ですか
- (9) 君は手に杖を持つて居る此の老人を見たか
- (10) 老人は其處に坐つて居るか
- (11) 彼の人<sup>ハ</sup>男子と女子を好みませるか
- (12) 彼の人<sup>ハ</sup>あんなに速く走るのが好きですか
- (13) 君は櫓に乗つて居る少女を見たか
- (14) 君は歐羅巴風の料理が好きですか

- (15) あの上衣は能く貴君に適しますか
- (16) あの人<sup>ハ</sup>馬に鞭ちますか
- (17) 貴君は箱根の道を御存知ですか
- (18) 貴君は私の父の顔を覺へて居りますか
- (19) あの籠の中の雲雀は能く歌ひますか
- (20) 君は太郎と三郎を見ましたか
- (21) 君は橋と川を見ましたか
- (22) 君はあの烟筒と窓の妙な形を注目しましたか
- (23) 彼は芳はしき香を欲しますか
- (24) 此等の人<sup>ハ</sup>英人の如くに見えますか
- (25) 家根より出てる火焰と烟を見ましたか
- (26) 汝は男子の手に持つて居る繩を見ましたか
- (27) 君は此の閑静なる場所<sup>ニ</sup>何んな水でも見ましたか
- (28) 君は年の内て春時を好みませるか
- (29) 君は鳥や縁の草や花や木や輝たる太陽を好みませるか
- (30) 君は正面の玄関の兩側に長廊下のあるを見ませんでしたか

- (1) Do you live in Tokyo?
- (2) Do traps catch rats and mice?
- (3) Do you know his name?



- (4) Do you see the man in the boat?
- (5) Do you see the buds on it?
- (6) Do you see the tame bird?
- (7) Do they fear to be in the woods?
- (8) Do you need a cane to walk with?
- (9) Do you see this old man with a staff in his hand?
- (10) Does the old man sit there?
- (11) Does he like boys and girls?
- (12) Does he like to run so fast?
- (13) Do you see the girl on a sled?
- (14) Do you like European cooking?
- (15) Does that coat fit you well?
- (16) Does the man whip the horse?
- (17) Do you know the way to Hakone?
- (18) Do you remember my father's face?
- (19) Does that lark in the cage sing well?
- (20) Do you see Taro and Saburo?
- (21) Do you see a bridge and the stream?
- (22) Do you notice the peculiar shapes of the chimneys and windows?
- (23) Does he want sweet odors?
- (24) Do these men look like English-men?

- (25) Do you see the flames and the smoke coming out of the roof?
- (26) Do you see a hoop in the boy's hand?
- (27) Do you see any water in this quiet scene?
- (28) Do you not love the spring time of the year?
- (29) Do you not love the birds, and the green grass, and the flowers and the trees, and the bright sun?
- (30) Do you not see a long piazza on each side of the front entrance?

是迄學ひたる規則に従ひ以下掲ぐる所の例題に就き練習す  
へし

### 實 習

- (1) 首府は政府のある所だ
- (2) 鷲には強ひ爪かある
- (3) 大工は家を造る
- (4) 農夫は土地を耕やす
- (5) 橙は熱帯に成長す
- (6) 人は衣類を着るが獸は衣ぬ
- (7) 我々は七時に學校へ行く
- (8) あの人は勉めて勉強する
- (9) 小供は遊びを好む



- (10) 彼は手紙を能く書く  
 (11) 彼は帽子を戴く  
 (12) 夏期休業は毎年一ヶ月間續く。  
 書生の多くは無益に之を費やす  
 (13) 春には草や木は花咲き鳥は木の間に歌ふて居る  
 (14) 私共は毎朝五時に起き七時に學校へ行く  
 (15) 瀛車は一時間二十哩の割合にて走る  
 (16) あの人は体格か悪ひから兵士にはなれませぬ  
 (17) 彼は主人に能く勤める  
 (18) 彼は屢々約束を破る  
 (19) 彼は用を鹿略に取扱ふ人だ  
 (20) 人は千年も生て居ることはない  
 (21) 彼は能き字書を持つや  
 (22) 然り持つ  
 (23) 彼は將校か兵士か  
 (24) 彼は下士官なり  
 (25) 汝は何を求むるや  
 (26) 私は君の父に會ひ度と思ふ  
 (27) 汝は大層奇妙な響を聞かぬか  
 (28) 私はあれは雷だろうと思ひます

### 第三章 現在の進行形

(progressive form of present tense)

第一 事件の未だ遂げずして現に**連續**せる働を表はす即ち日本語の今書て居る所た今遣て居る所た雨は降て居るのでといふてにをはの附するものは之を現在の**進行形** (progressive form of present tense) と稱す

第二 **進行形現在** を組立つるには **be** を助働詞に設け其下に **現在分詞** とて通常字書に於て見出たす **働詞** の語尾に **ing** を附して構成したるものを置く例へは

犬は走つて居る

A dog is running

此小供は書を讀て居る

This boy is reading a book.

第三 **進行形の疑問文** 組立つるには **Is** を先頭に  
 出たし次に **subject** を置き次に **現在分詞** を置く又  
**否定形** を組立つるには **be** と現在分詞の間に **not** を置くべし但し會話の時は **isn't** と略して疑問と否とに依り **subject** の前後に出たすこと多し

第四 日本語の何を、如何に、何故、何時に等の如きを英語にては**疑問詞** (interrogatives)といふ下表の如し

誰れが、は	who	フー
誰れを	whom	フーム



何か, は, を	what	ホアツト
孰れが, は, を	which	ホイツチ
何時	when	ホエン
何處に	where	ホエヤ
何故に	why	ホワイ
如何に	how	ハウ

此等諸詞の使用は後に詳説すべし但し此等の諸詞は通常の疑問文の頭に置いて使用するものなり然れども

汝は埠頭は何なるであるだかを知つて居るか

の如く日本語の **か** をの付く時即ち疑問文を一の附屬文として他の文に付ける時は疑問文中の **subject** は **助動詞** の後に置して直接に疑問詞の後に置くものとす例へは前例を譯してといふ

*Do you know what a pier is?*

といふ時は *Do you know* は本文にして *what* 以下は附屬疑問文なり故に *what is a pier* とせずして *a pier* を **what** の下に置きたるなり

汝は隅田川は何處にあるかを知つて居るか

*Do you know where the Sumida River is?*

第五 物の外部より中へ入込む **運動の觀念** ある時は前置詞の **into** (インツ- ) を用ゆべし例へば矢を胸へ射込む “家の中へ石へ投り込む” 等の如き時は **into** を

以て現はすべし

第六 **About** (アバウト) といふ前置詞は **物の關係** を示すに用ゆ故に **關して** 或は **就て** と譯すべし

第七 **Down** (ダウン) といふ前置詞は **下る** 意味の時に用ゆ故に **動詞** と附着して一箇の句を形成することあり

第八 **Over** (オヴァ- ) といふ前置詞は **表面の廣がり** を意味し **on** よりは **表面の區域廣さ** か如し故に又 **蔽ふ** 意味あり

單 語  
名 詞

手紙	letter	レッター
數學	mathematics	マセマチツクス
廊下	veranda	ヴェランダ
懸時計	clock	クロック
戸棚	closet	クロゼット
穴	hole	ホール
家根	roof	ルーフ
課業	lesson	レツスン
種類	kind	カインド
階段	steps	ステツプス



コシコシ粉	dough	ドー
小丘	hill	ヒル
橇	sled	スレツド
氷	ice	アイス

形 容 詞

他の	other	アザー
寒き	cold	コールド
左	left	レフト
右	right	ライト

副 詞

左襟に	so	ソー
多分	perhaps	パーハプス
速やかに	fast	ファスト
アチラニ	away	アウエー
今	now	ナウ

分 詞

書て	writing	ライティング
學で	learning	ラーニング
食て	eating	イーディング
飲で	drinking	ドリンキング

眠て	sleeping	スリーピング
打て	striking	ストライキング
笑て	laughing	ラッフィング
叫で	crying	クライイング
嚼で	gnawing	ノーイング
造て	making	メーカーキング
行く所で	going	ゴーイング
裁縫して	sewing	ソウイング
眺て	looking at	ルツキング アット
話して	talking	トーキング
尋ねて	asking	アスキング
坐つて	sitting	シツチング
吹て	blowing	ブローイング
下つて	coming down	カミングダウン
爲して	doing	ドゥーイング
持つて	holding	ホールディング
滑り下つて	sliding down	スライディング ダウン
取つて	taking	テークイング
切つて	cutting off	カッチング オッフ
與へて	giving	ギーヴィング
上つて	going up	ゴーイングアツプ



語つて

telling

テリング

- (1) 私は手紙を書いて居る
- (2) 我々は數學を學んで居る
- (3) 彼は若干の肉を食つて居る
- (4) 彼は鶏卵を食つては居ない
- (5) あの人は麵包を食べて居りますか
- (6) 此等の馬は水を飲んで居りますか
- (7) あの犬は廊下に眠つて居る
- (8) 時計は今打つて居りませんか
- (9) 私は笑つても居なければ叫んでもいない
- (10) 鼠は戸棚の何處かへ穴を開けて居る
- (11) 雀は家根に巢を造つて居る
- (12) 少女か座敷で裁縫をして居る時に男の子は學校へ行く所だ
- (13) 太郎は何を讀んで居るか
- (14) 太郎は書を讀んで而して稽古して居る
- (15) 今彼は書物を見て居るか
- (16) 否、彼は他の人を見て居る
- (17) 汝は彼かあの人に話して居ると思ひなさるか
- (18) 汝は彼か何に就て話して居ると思ふか
- (19) 私は彼か書物に就て話して居ると思ひます

- (20) 多分彼は其の事物は何んな種類の事物だかをあの  
人に聞て居るだろう
- (21) 老人よ何故に汝はうんなに坐つて居るか
- (22) 何となれば大層寒き風か吹て居るから
- (23) 何處へ彼は行かんとして居るか
- (24) 彼は家の階段を下つて居る
- (25) 彼女は今何をして居るか
- (26) 彼女は左の手で何を持つて居るか
- (27) 彼女は右の手で何を取つて居るか
- (28) 彼女は小刀を以て何を切て居るか
- (29) 彼女は摺子粉の若干を切つて居る
- (30) 汝は小供か今何をして居るかを見たか
- (31) 彼は食はしむるか爲めに若干の草を牝牛に與へて  
居る
- (32) 汝は彼か何をなして居ると思ひますか
- (33) 彼は話して居るか
- (34) 然り、彼は此等の石を何處に置くべきかを小兒等に  
して居る
- (35) 汝は如何に速やかに私か小山を滑り下つて居るか  
を見ましたか
- (36) 汝は如何に速やかに私の襦か氷の上及び雪の上を  
行つて居るかを見ましたか



(37) 私か降つて居る時に太郎は上つて居る

- (1) I am writing a letter.
- (2) We are learning mathematics.
- (3) He is eating some meat.
- (4) He is not eating an egg.
- (5) Is that man eating bread?
- (6) Are those horses drinking water?
- (7) Isn't that dog sleeping on the veranda?
- (8) Isn't the clock striking now?
- (9) I am neither laughing nor crying.
- (10) Rats are gnawing a hole somewhere into the closet.
- (11) Sparrows are making their nests in the roof.
- (12) The boy is going to school, while the girl is sewing in the room.
- (13) What is Taro reading?
- (14) Taro is reading his book and getting his lesson.
- (15) Is he looking at the book now?
- (16) No; he is looking at the other man.
- (17) Do you think he is talking to him?
- (18) What do you think he is talking about?
- (19) I think he is talking about the book.

- (20) Perhaps he is asking the man what kind of book it is.
- (21) Old man, why are you sitting so?
- (22) For a very cold wind is blowing.
- (23) Where is he going away?
- (24) He is just coming down the steps of the house.
- (25) What is she doing now?
- (26) What is she holding in her left hand?
- (27) What is she taking in her right hand?
- (28) What is she cutting off with the knife?
- (29) She is cutting off some of the dough.
- (30) Do you see what the boy is doing now?
- (31) He is giving the cow some grass to eat.
- (32) What do you think he is doing?
- (33) Is he talking?
- (34) Yes, he is telling the boys where is to place stones.

此場には is を省略するを通例とす

- (35) Do you see how fast I am sliding down the hill?
- (36) Do you see how fast my sled is going over the ice and over the snow?
- (3) When I am going down, Toro is going up.



## 實 習

- (1) お前方は何を見て居のか
- (2) 小供等は庭で遊んで居る
- (3) 月は高く空中に輝て居る
- (4) 私共は旅順口の戦の寫眞を見て居る
- (5) お前の兄弟は勉強して居るや遊んで居るや
- (6) 雨が今甚たしく降つて居る
- (7) 彼等は山の頂から發砲して居る
- (8) 彼は山田さんの所から來た手紙を讀んで居る
- (9) 彼は當時大坂に住んで居る
- (10) 士官は此のステーションで君を待つて居る
- (11) 風が強く吹て居る
- (12) 猫は椽側で臥て居る
- (13) 大勢の小供が河で泳て居る
- (14) 私は今父の所へやる手紙を書いて居る
- (15) 小供が池で釣をして居る
- (16) 大工は家の設計をして居る
- (17) 多くの兵士は練兵場て馬に乗て居る
- (18) 娘が三味線を引て居る
- (19) 東京の學校の生徒は皆制服を着て居る
- (20) 彼は勉強しても居らず遊んでも居らず今晝飯を食して居る

- (21) 上野の公園には澤山の櫻の木が生へて居る
- (22) 船が速に走つて居る
- (23) 生徒が教師の講義を聞て居る
- (24) 悪ひ小供が池の中へ石を投けて居る
- (25) 病人は次第に快方に向て居る

## 第四章 十分現在 (present perfect tense)

第一 現に今完了せし働 或は 事件 及び 已に起りたる事件 を表はすに 現時までを限として 其の間に起りたる 意を以てするか或は 未だ全く過き去らざる時期 即ち 今月今年 等の如き言詞ある文は 十分現在 を用ゆ例へば

彼は丁度今返つた

*He has returned just now.*

此文にて he なる人の返るといふ働が丁度今完了したるを示す

私は正直にせねばならぬと度々彼に注意した

*I have often told him to behave honestly.*

此文に於て I は過去の時より今に至るまで引續て彼に注意したるを示す

私は今月英語を習ひ始めた

*I have begun to learn English this month.*



此文に於て習ひ始めたるは既に過ぎ去りたる時なれども習ひ始めたる月は尙ほ今月中なれば十分現在を用ゐたるなり

第二 十分現在 (present perfect tense) を組立つるには最初に to have を置き次に過去分詞とて普通の動詞の語尾に ed を附したるものを置くべし又 不規則動詞とて ed を附せず言詞唯中の文字を變化して過去分詞を構成するものあれども是等は後に表を以て示すべし

私は今日六里を歩んだ

I have walked six miles to-day.

walked は過去分詞なり

博士リーヴィングストーンはアフリカノ大部分を探検した

Dr. Livingstone has explored a large part of Africa.

explored は過去分詞なり

第三 Into (インツ-)といふ前置詞は外部より物の圍中へ入込む意味に使用す

第四 前置詞 to はへ、にと方向を示す外 爲めにの意味に使用す

第五 For といふ前置詞は動作及状態の擴かるべき範圍及び時間を示す故に生涯の間といふ時は for life とし一日間といふ時は For a day とすべし

單 語  
名 詞

新聞	news	ニュース
月	month	モンズ
度	times	タイムズ
夏	summer	サンマー
街道	street	ストリート
夕	evening	イヴニング
答	answer	アンスワー
年	years	イーヤス
木曜日	thursday	サースデー
各人	every body	イヴエリ ボデー
誰れでも	anyone	エネワン
破裂	outbreak	アウトブエーク
晩近の戦争	late war	レート ウオア
匪徒	outlaws	アウト ロース
堀窟	mining	マイニング

形 容 詞

成就する	successful	サクセスフル
數	several	セヴエラル



最近	last	ラスト
病んで	ill	イル
温和なる	mild	マイルド
掘掘する	mining	マイニング
忙はしく	engaged	エンゲージド

分詞

徧歴する所の	prowling about	フローウリング アバウト
--------	----------------	-----------------

過去分詞

聞く	heard	ハアード
来る	come	カム
持来す	brought	ブロート
忘れる	forgotten	フオルゴットン
見る	seen	シーン
出遭	met	メット
ある	been	ビーン

been は行たつたことかあるいふ如き時は簡便の爲め gone  
を用ゆずして單に have been となす會話に於ては常に然り

風を引く	had cold	ハッド コールド
通過する	passed	ハツスト
修覆する	repaired	リペーヤド

掃除する	swept and dusted	スウエプト エンド ダスタット
訪問する	called on	コールド オン
投げる	thrown	スローン
登る	ascended	アセンデット
爲す	done	ダン
書く	written	リツツン
眺める	looked	ルックト
昇る	risen	リズン
噛む	bitten	ビツツン
減少	diminished	ジスミニツシト

副詞

今日	today	ツデー
丁度	just	ジヤスト
今月	this month	ジス モンス
二三度	two or three times	ツー オーア スリー タイムス
其處に	there	ゼヤ
此の夏	this summer	ジス サンマー
今	now	ナウ
近頃	lately	レートリー
マダ	yet	イエツト



今晚	this evening	ジス イヴニング
此迄	ever	エヴァー
ソウ	so	ソー
數度	several times	セヴエラル タイムス
大に	greatly	グレートリー

## 前 置 詞

以來	since	シーンス
----	-------	------

## 接 續 詞

然りと雖も	but	バット
-------	-----	-----

## 練 習

- (1) 汝は今日何か新奇なことを聞たか
- (2) ハイ私は幾らか聞きました
- (3) 何時汝は來たか
- (4) 私は丁度今來ました
- (5) 君は自分の書物を持って來つたか
- (6) 私は持つて來るのを忘れた
- (7) 君は今月あの人を見ましたか
- (8) 私は今月二三度あの人に會ひました

- (9) 貴君は大久保へ御出なされたことかありますか
- (10) 否私は一度も其處へ行つたことかありません
- (11) 貴君は此の夏お風邪を引きましたか
- (12) イエ風邪は引きません
- (13) 今誰れかこの街上を通りましたか
- (14) 一士官か街上を通りました
- (15) 君は此頃お宅を御普請なさいませんか
- (16) イヤ未だ宅を普請しません
- (17) 君は君の坐敷を掃除しましたか
- (18) イエまた掃除しません
- (19) あの方は私を訪問しませんでしたか
- (20) 小供か犬に石を投つた
- (21) 君は富士へ此迄登つたことかありますか
- (22) イエまた登りません
- (23) 君は僕の手傳に來て下すつたのですか
- (24) 今迄はあの方は成功して居ました
- (25) 私は其の事に關し數度あの人に手紙を遣りました
- (26) 君はあの人から返事を受け取りましたか
- (27) イエまだ何んとも受取りません
- (28) あの方は最近五年間亞米利加に居りました
- (29) 私の父は前の木曜日以來加減が悪く御座ます
- (30) 或る人か門で家の中を眺め込んで居ります



- (31) 今年の夏は大層凌ぎよう御座います  
 (32) 月か小丘の後から昇りました  
 (33) あの犬は誰れにでも吠へますがまた噛付たことは  
 御座いません  
 (34) 五年間彼は堀墻に従事して居ました  
 (35) この間の戦争の破裂以來東京に偏歴ひて居る無頼  
 の徒は大分減つてしまひました

- (1) Have you heard any news today?  
 (2) Yes, I have heard some.  
 (3) When have you come?  
 (4) I have come just now.  
 (5) Have you brought your book?  
 (6) I have forgotten to bring it.  
 (7) Have you seen him this month?  
 (8) Yes, I have met him two or three times this month.  
 (9) Have you been to Okubo?  
 (10) No, I have never been there.  
 (11) Have you had cold this summer?  
 (12) No, I have had no cold.  
 (13) Who have passed the street now?  
 (14) An officer has passed the street.

- (15) Haven't you repaired your house lately?  
 (16) No, I haven't repaired my house yet.  
 (17) Have you swept and dusted your room this evening?  
 (18) No, I haven't swept and dusted yet.  
 (19) Has he not called on me?  
 (20) The boy has thrown a stone at the dog.  
 (21) Have you ever ascended Fuji?  
 (22) No, I have not done so yet.  
 (23) Have you come to help us?  
 (24) Until now he has been successful.  
 (25) I have written to him several times about it.  
 (26) Have you had an answer from him?  
 (27) No, I have not had any yet.  
 (28) He has been in America for last five years.  
 (29) My father has been ill since last Thursday.  
 (30) We have had very mild summer this year.  
 (31) A man has looked into the house at the gate.  
 (32) The moon has risen from behind the hills.  
 (33) The dog barks at every body but has never bitten any one.  
 (34) For five years he has been engaged in mining.



- (35) Since the outbreak of the late war outlaws prowling about in Tokyo have greatly been diminished.

## 第五章 十分現在の進行形

(progressive present perfect tense)

第一 過ぎ去りたる時より現今まで事柄の連続し居ることを或は斯かる事柄が現今に至つて終りたるを表はすには十分現在の進行形(progressive present perfect)を用ゆ例へは

私は三年間此處に住んで居ります

I have been living here for three years.

此の紳士は二時から君を待つて居つた

This gentleman has been waiting for you since two o'clock.

第二 十分現在の進行形を組立つるには **to have** を助働詞として subject の次に置き其次に **to be** の過去分詞 **been** を置き其次に **現在分詞** を置くべし

have }  
has } been — ing

第三 疑問の十分現在進行形は **to have** を subject の前に出す

have }  
has } subject been — ing?

第四 **Who, which, what** 及び **that** が名詞代名詞の直下に来りて **who, which, what** 及 **that** が subject 若しくは object となりて別に一箇の文を形成し其文を以て直上の名詞若しくは代名詞を形容する時は之を **関係代名詞** と稱す例へは

此は日本橋に住む夫人だ

This is the lady *who* lives at Nihonbashi.

隅田河上にある東京は大日本の首府だ

Tokyo *which* is on the Sumida, is the capital of Great Japan.

私は汝の願ふ所を知る

I know *what* you wish.

真直に歩む彼は確かに歩む

He *that* walketh uprightly, walketh surely.

焼けて居る家は原田君の家だ

The house *that* has caught fire belongs to Mr. Harada.

第六 **Who** は人間にのみ用らる但し時として他の物を受けることあり然れども之は他の物を人間として書したるのみ

第七 **Which** は人間外の生物無生物 並に 小兒 (children) 等に用ゆ例へは



私が乗る馬

The horse which I ride.

成長する木

The tree which grows.

私の處へ来る小兒

The child which comes to me.

第八 **That** は 人間 並に 他の物の代りに用ひらる但し **who** 及 **which** より **that** を用ゆれば意味 嚴肅 となる例へは

茲に来る人

The man *that* come here.

といへは

The man *who* came here

より 嚴肅 なり又

私が乗る馬

The horse *that* I ride

といへは

The horse *which* I ride.

より 嚴肅 になる

第九 **What** は *that which* と同じ

此は私の要するものなり

This is *what* I want.

といへは

This is *that which* I want.

或は

This is *the thing which* I want.

第九 關係代名詞の爲めに形容さる名詞は概ね冠詞を取るものとす

單 語  
名 詞

房	bunches	バンチエス
葡萄蔓	vine	ヴァイン
人	persons	パーソンズ
牧場	pasture	パスチユア
農夫	farmer	ファーマー
叉把	pitchfork	ピッチフォーク
課業	lesson	レツスン
道	load	ロード
文章	composition	コンポジション
遊歩場	play-ground	プレーグラウンド
先月	last month	ラストモンズ
圃	field	フィールド



長靴	boots	ブーツ
昇進	promotion	プロモーション
劇場	theatre	シアター
狡猾	cunning	カンニング
朋友	friend	フレンド
堤	bank	バンク
岩	rock	ロック
影	shade	シェード
小川	brook	ブルック
中尉	Second Lieutenant.	セカンド レフテナント

形容詞

最も美しき	finest	ファイネスト
蘚苔の	mossy	モツシ
其他の	else	エルス
冷たく	cool	クール

副詞

近く	close	クローズ
漸く(遂に)	at last	アト ラスト
長く	long	ロング
外に	out	アウト

丁度	just	ジャスト
----	------	------

現在分詞

坐る	lying down	ライイング ダウン
採つて	despoiling	デスポイリング
導ひて	leading	リーディング
摘取つて	plucking	ブラツキング
得て	getting	ゲツチング
立て	standing	スタンディング
波打たせて	waving	ウエーヴィング
造つて	building	ビルディング
漁つて	fishing	フィッシング
爲して	doing	ズーイング
思つて	intending	インテンディング
勉強して	studying	スタディイング
居眠つて	nodding	ノツヂング
待つて	waiting	ウエーチング
耘つて	hoeing	ホーイング
削つて	planing	プレーニング
磨て	polishing	ポリツシング
務めて	servicing	サーヴィング
思つて(考へる方)	thinking	シンキング



建てること	establishing	エスタブリッシング
話して	talking	トーキング
語つて	telling	テリング
歌て	singing	シンギング
坐つて	sitting	シティング
捕へて	catching	キャッチング
立つて	standing up	スタンディング アツプ
歸りて	coming back	カミング バック
飲て	drinking	ドリンキング

過去分詞

ナル	become	ビカム
沈む	gone down	ゴーン ダウン
出て行く	gone out	ゴーン アウト

不定詞

訪問せんと	to call on	ツ - コール オン
立てんと	to stand	ツ - スタンド

前置詞

of は の の 意味の外 from と同じく分離の意味あり木から菓實を採る, 衣物をあの人から剝取る等のからに相當す

又 of は about と同じく關係を表はす日本語の 就て, 關して に相當す.

して	as	アズ
間	for	フォーア
間	during	ジューリング
就て(關して)	about	アバウト
から	from	フロム
近く	near	ニーヤ

接續詞

時に	when	ホエン
----	------	-----

實習

- (1) 太郎は木の側に坐つて居つた而して書物を読んで居つた
- (2) 彼は葡萄蔓から葡萄の極く美しき房をもき取つた
- (3) 汝は此等の三人か何に乗つて居るかを知つて居りますか
- (4) 今朝あの人は學校の近所の牧場へ牝牛を導ひて行つた
- (5) 彼女は園中に咲て居る花を摘み採て居つた
- (6) 學校に居る小供は課業を受けて居る



## [114]

- (7) 農夫は手に<sup>ツバサ</sup>叉把を以て門の側に立つて居る而て彼は道に居る人に帽子を振つて居る
- (8) 彼等は漁する時に立つ様に波止場を造つて居る
- (9) 汝は今迄汝の作文を書て居つたか
- (10) 汝は遊歩場にて何をして居つたか
- (11) 私は何時か貴君を御尋ね申さうと思て居りました
- (12) 私は彼等は非常に勉強して居つたと思ひます
- (13) 君は居眠をして居なかつたか
- (14) 君は長く待つて居つたか
- (15) 彼等は新しき庭を作つて居つた
- (16) 女共か圃をうなつて居つた
- (17) 大工か板を削つて居つた
- (18) 召使か君の長靴を磨いて居つた
- (19) 彼は二十年以上も大尉で陸軍に勤めて居つたか到々昇進した
- (20) どの位長く君は英語を勉強して居つたか
- (21) 私は先月から此事ばかり思つて居た
- (22) あの人は長い間劇場を建てるところに就て話して居つた
- (23) 私は狐の狡猾に就て彼に話して居つた
- (24) 知<sup>コメドリ</sup>更雀が私が今迄居つた森の中で歌つて居つた
- (25) 二人の朋友か野に行つた而して彼等は木の影の蔭

## [115]

- 苔のある堤上に坐つて居つた
- (26) 此等の人々は小舟で湖水に乗出した而して彼等は網で若干の魚を捕へて居つた
- (27) 彼等の一人は高ひ岩の上に立つて居つた
- (28) 今太陽か没した而して人は圃から歸りつゝあつた
- (29) 若干の牝牛は坐つて居つた若干は涼しき木の影に立つて居つた而して若干は小川で水を飲んで居つた
- (30) 田中君は君の兄弟が少尉に昇進したことを話して居つた
- 
- (1) Toro has been lying down close to the tree, and he has been reading his book.
- (2) He has been despoiling its finest bunches of grapes of the vine.
- (3) Do you know what those three persons have been riding in?
- (4) This morning he has been leading the cow to the pasture which is near the school.
- (5) She has been plucking flowers which bloom in the garden.
- (6) The boys who are in the school have been getting



- their good lesson.
- (7) The farmer has been standing near the gate with a pitchfork in his hand, and he has been waving his hat to those who are on the road,
- (8) They have been building a pier to stand on when they are fishing.
- (9) Have you been writing your composition till now?
- (10) What have you been doing on the play ground?
- (11) I have been intending to call on you for some days.
- (12) I suppose they has been studying hard, since last month.
- (13) Have you not been nodding?
- (14) Have you been waiting long?
- (15) They have been making a new garden.
- (16) The women are hosing in the field.
- (17) The carpenter has been planing a board.
- (18) The servant has been polishing your boots.
- (19) He has been serving in the army as a captain for more than twenty years, but has got his promotion at last.
- (20) How long have you been studying English.

- (21) I have been thinking of nothing else during last month.
- (22) They have been talking of establishing a theatre for a long time.
- (23) I have been telling him a story about the cunningness of the fox.
- (24) The robins have been singing in the grove, where I have been till now.
- (25) The two friends have gone out into the field, and they have been sitting on a mossy bank, in the shade of a tree.
- (26) These men have been out on the lake in a boat, and they have been catching some fish in a net.
- (27) One of them have been standing up on a high rock, and the others have been lying down.
- (28) Now the sun has gone down, and the men have been coming back from the field.
- (29) Some of the cows have been lying down, some have been standing in the shade where it is cool, and some have been drinking in the brook.
- (30) Mr Tanaka has just been telling me of the promotion of your brother who has become second lieutenant.



## 第六章 不人稱代名詞

(Impersonal pronoun)

第一 日本語にて 雨が降る 雪が降る 等の語は別に subject を要せざれども英語にては it といふ無意味の代名詞を subject として附置す例へば

雨が降る

It rains.

雪が降る

It snows

第二 又名詞の句 (noun phrase) 又は 附屬文 (noun clause) とて日本語の あの人か勉強する といふことは虚言だ、物を借ることは嫌だ 等の如く一の句又は文が全文の subject となる場合には其 名詞附屬文 (noun clause) を動詞の下に置き it といふ不人稱代名詞を動詞の上に置くべし

第三 此形骸の 進行形 并に 疑問形 を組立つるは是迄學ひたるものと異なることなし

無益に時を費やすことは悪し

It is wrong to waste time.

退くことは必要だ

It is necessary to retreat.

獅子か食を求めんか爲めに其の洞より出て來ること  
は夜中なり

It is in the night-time that the lion goes out from his den to seek for food.

上例に於て to waste time と to retreat とは 不定詞 (infinitive) 即ち 名詞句 (noun phrase) なり又後例の that the lion goes out from his den to seek for food は 名詞句 (noun clause) なり

第四 There といふ副詞は it の如く無意味に文の冒頭に置かる但し it の如く名詞句若しくは名詞の附屬文を動詞の下に置かず必ず 名詞 を置て以て文の subject とす

例へば

馴れたる南京兎には多くの種類がある

There are many kinds of tame rabbits.

あの小羊の内には數匹の不具のものが居る

There are several lame ones among those lambs.

但し there を冒頭に使用する文は使用せざる文より意味曖昧なり例へば

1. There is no one in the garden.

2. Mr Oda is in the garden.

此二文に於て前者は subject が漠然たる故に there is を用ひ後者は subject が判然せし故に mr. Oda を冒頭に出たせり



單 語  
名 詞

天氣	weather	ウエザー
晴天	fine weather	フアインウエザー
窓	window	ウインドー
隅田川	The Sumida	ゼ スミタ

(注意) 川の名, 海の名, 大洋, 岬, 群島, 海峽, 山脈 歴史上の地名には 定冠詞 (definite article) を附するものとす例へは

山脈の例は左の如し

アルタイ山脈	The Altais.	ゼ アルタイス
ロッキー山脈	The Rockies	ゼ ロッキース
ヒマラヤ山脈	The Himarayas	ゼ ヒマラヤ
天山脈	The Thianshans	ゼ シアンシヤンス
崑崙山脈	The Kuen loons	ゼ クエンルーンズ
スタノヴオイ山脈	The Stanovois	ゼ スタノヴオイス

岬の例は左の如し

コモリン岬	The Comorin	ゼ コモリン
カンボヂヤ岬	The Cambodia	ゼ カムボヂヤ
犬吠岬	The Inubo	ゼ イヌボニ
觀音岬	The Kwannon	ゼ カンノン

知多岬 The Chita ゼ チタ

海洋の例は左の如し

オコーツク海	The Okhotsk.	ゼ オコーツク
印度洋	The Indian	ゼ インヂアン
大平洋	The Pacific	ゼ パシフィック
北氷洋	The Arctic	ゼ アークチック
ベーリング海	The Behring	ゼ ベーリング
亞刺比亞海	The Arabian	ゼ アラビヤン
裏海	The Caspian	ゼ カスピヤン
黒海	The Black	ゼ ブラック
支那海	The China	ゼ チャイナ

海峽の例は左の如し

ボスポラス海峽	The Bosphoras.	ゼ ボスフォラス
韃靼海峽	The Tartar	ゼ タータル
ジブラルタル海峽	The Gibraltar	ゼ ジブラルタル
マラッカ海峽	The Malacca	ゼ マラッカ
トヴァー海峽	The Dover	ゼ ドヴァー

群島の例は左の如し

フィリッピン群島	The Philippines	ゼ フィリッピンス
琉球群島	The Loo Choo	ゼ リュキユー
西印度諸島	The West Indies	ゼ ウェストインヂス

歴史上の地名は左の如し



[122]

關ヶ原	<i>The Sekigahara</i>	ゼ セキガハラ
關東	<i>The Kanto</i>	ゼ カントー
マラソン	<i>The Marathon</i>	ゼ マラゾン
ヘレスポント	<i>The Hellespont</i>	ゼ ヘレスポント
其他推して知るべし		
賣	sale	セール
盜賊	robber	ロツバー
日中	day-time	データイム
蚊	mosquitoes	モスクイトース
臺灣	<i>Formosa</i>	フォルモーサ
評判	report	レポート
生國	native country	ネーチヴ カンツリー
港	harbour	ハーボア
計画	plan	プラン
街道	streets	ストリート
善	good	グード
惡	evil	イザル
池	pond	ポンド
桴	raft	ラフト
木頭	log	ログ
材木	lumber	ランバ
軍艦	warships	ウォアシップス

[123]

場所	places	プレーセス
砂漠	desert	デザート
小山	hill	ヒル
海狸	beaver	ビーヴァー
蟹	crab	クラブ
ラブラント	Lapland	ラブラント

形容詞

嵐で	stormy	ストーミー
數多の	many	メネー
半分	half	ハーフ
多量の	much	マツチ

Many は數に關して多を表はし much は量に關して多きを  
表はす故に兩語の使用を謬る勿れ

鬱陶しき	gloomy	グルーミー
斯様なる	such	サツチ
冷か	cool	クール
不愉快	unpleasant	アンプレザント
熱く	hot	ホット
妙な	strange	ストレンジ
病で	sick	シツク
立派なる	noble	ノーブル



神の如き	godlike	ゴッドライク
幸福	lucky	ラッキー
隔りたる	distant	ダスタント
巖岩たる	rocky	ロッキー

副 詞

漸々々	gradually	グラデュアリー
其處に	there	ゼア

文章の終りにある *there* は此章の第四に説明したる *there*

とは異にして *其處に* といふ意味なり

唯	only	オンリー
常に	always	オールウエーズ
殆ど	nearly	ニヤリー

働 詞

取る	takes	テークス
成る	grow	グロウ
盗む	steal	スチール
成立つ	consists	コンシスト
思はれる	seems	シームス
酬ゆる	return	レターン
住ふ	inhabits	インハビッツ

現在分詞

雨が降て	raining	レーニング
雪が降て	snowing	スノーウイング
晴れて	clearing	クリ・アリング
始つて	beginning	ビギニング

過去分詞

言はれる	said	セツド
出會つて	met with	メットウイズ

前置詞

*In* は場所のみにあらず 時に關しても亦た 内にあ  
る 意味に使用す例へば

時間内に	in the hour.
年の内に	in the year.

の如し

國 又 大都府 等の如きは *in* を用ひ大都府中の 一部

若しくは 小市, 小區 等には *at* を使用す例へば

東京の牛込にて

*At Ushigome in Tokyo*

の如し

*At* を時間に使用する時は 時の一刻 を示す例へば



一時に私は彼を訪問せり

*At one o'clock I have called upon him.*

日出の時彼は山に到着せり

*At break of day he has arrived at the mountain.*

の如し

**For** なる前置詞は種々の用法あり

1. 一働作の間接なる **目的** に使用す例へは  
 樅樹は何れに使用するも悪しからず  
*The oak for nothing ill.*
2. 或る働作或は状態の **影響** を蒙る人物或は物を示す  
 例へは  
 人に對しては未熟の忠告なり  
*It is young counsel for the persons.*
3. **結局** を示す例へは  
 彼は金錢の爲めに書かず  
*He writes not for money.*
4. 働作の方向及運動の方向を示す  
 彼は横濱より大阪の方へ帆走れり  
*He sails from Yokohama for Osaka.*
5. 日本語の **なりど** の意に使用す例へは  
 吾人は星なりど隕石を思ふ

*We take a falling meteor for a star*

6. 代用, 辨償の意味に使用す例へは

眼の代りに眼, 手の代りに手

*Eye for eye, hand for hand.*

- Of** は集合体の一部たることを示す例へは

鑛山中の幾箇は無生産なり

*Some of the mines are unproductive.*

### 接續詞

**That** なる接續詞は **附屬文** (clause) として本文を説明する爲め一箇の文を本文に接合するの用をなす而して **that** を用ひて文の頭に **it** といふ不人稱代名詞ある時は **that** の率ゐる附屬文は名詞句なりと知るべし

或は or オーア

### 練習

- (1) 雨が降つて居る
- (2) 雪が降つて居りますか
- (3) イエ. 雪は降つて居りません
- (4) 鬱陶敷天氣で御座りますか
- (5) イエ. 晴天で御座ります
- (6) 段々晴れてまゐります



- (7) 暗くなり始めました  
 (8) 今朝は大層寒ふ御座ります  
 (9) 今日はひどい嵐ですな  
 (10) 此室には窓が二つあります  
 (11) 隅田川に澤山舟があります  
 (12) 机の上に若干の書籍あり  
 (13) 盗むことは甚だ悪ひことだ  
 (14) あの家を建てるには三年かゝる  
 (15) 此頃は朝晩大層冷えます  
 (16) 雨に降られてびしょぬれになるは甚だ快くない  
 (17) 腰掛に腰を掛けて居る人がある  
 (18) 此頃日中は大層暑ふござります  
 (19) 櫻の木の賣物が澤山あります  
 (20) 本所には蚊が澤山居ります  
 (21) あの人が今病氣なのは實に不仕合だ  
 (22) 臺灣の半は山脈から出来て居るろうだ  
 (23) あの人の故郷ではあの人の關して妙な評判がある  
 (24) 當節箱館港に露亞西の軍艦が居る  
 (25) 葉山より北條の方が寒ひと思ひます  
 (26) 布哇より臺灣の方が暖かひさうです  
 (27) 東京の街巷を一層廣くするは能き計畫と思ひます  
 (28) 惡に報ゆるに善を以てするは氣高くして神の如し

- (29) 遊ぶべき時と學ぶべき時あり  
 (30) 私に出遇たことは汝の爲めには幸なり  
 (31) 今寒ひ而して地上にも樹上にも池の上にも雪がある。冬です  
 (32) 人が遠方へ材木の梓を浮へて行くのは水のね蔭だ  
 (33) 獅子が居るのは唯だ亞細亞及亞弗利加の砂漠と岩の小丘だ  
 (34) 海狸の家には二つの室あり  
 (35) 印度洋の群島に盜賊蟹といふ蟹の一種がある  
 (36) ラブランドといふ國は常に寒くて懐槍くある而して殆んど年中地上に雪がある

- (1) It is raining.  
 (2) Is it snowing?  
 (3) No, it is not snowing.  
 (4) Is it a gloomy weather?  
 (5) Yes, it is a fine weather.  
 (6) It is clearing gradually.  
 (7) It is beginning to grow dark.  
 (8) It is very cold this morning.  
 (9) It is very stormy to-day.  
 (10) There are two windows in this room.



[130]

- (11) There are many boats on the Sumida.
- (12) There are some books on the table.
- (13) It is very wrong to steal.
- (14) It takes three years to build such a house.
- (15) It is very cool in mornings and evenings now.
- (16) It is very unpleasant to be caught in the rain.
- (17) There is a man sitting on the bench.
- (18) It is very hot in the day-time now.
- (19) There are a great many cherry-trees for sale there.
- (20) There are a great number of mosquitoes at Honjo.
- (21) It is very unfortunate for him that he is sick now.
- (22) It is said that a half of Formosa consists of mountains.
- (23) There is a strange report about him in his native country.
- (24) There are Russian warships in the Hakodate Harbour at present.
- (25) It seems to me that it is colder at Hojo than at Hayama.
- (26) It is said that Formosa is warmer than Hawaii.
- (27) It seems to me that it is a good plan to make all these streets in Tokyo wider.

[131]

- (28) It is a noble and godlike thing to return good for evil.
  - (29) There is a time to play, and a time to study.
  - (30) It is lucky for you that you have met with me.
  - (31) It is cold now, and there is snow on the ground, and on the tree, and in the pond: it is winter.
  - (32) It is by water that men float their rafts of logs or lumber to distant places.
  - (33) It is only in the deserts and rocky hills of Asia and Africa that the lion is met with.
  - (34) There are two rooms in the house of the beaver.
  - (35) There is a kind of crab, called the robber crab, which inhabits on the islands of the Indian Ocean.
  - (36) It is always very cold and dreary in a country called Lapland, and there is snow on the ground for nearly all the year.
-



### 第七章 過去 (past tense)

第一 是迄學びたる文は總て現在なり過去とは過ぎ去りたる時を表はすものにして例へば yesterday, (昨日) last year (去年)等の如く既に過ぎ去りたる言詞を附加するか或は之を加へざるも全く過ぎ去りたる時を胸中に決定して云ひ出す場合には總て過去 (past tense) を使用するものなり

彼は三日前に名古屋に着せり

He arrived at Nagoya three days ago.

淺草へ行く途中にて彼に出遭ひました

I met him on my way to Asakusa.

第二 過去動詞は概ね現在動詞に ed を附加して構成す但し不規則變化とて不規則に現在より過去に變するものなり今過去分詞を合せて是等を下に示す

#### To be の變化

	現在	過去	過去分詞
單數	am is	was	been
複數	are	were	been

#### To have の變化

	have has	had	had
--	-------------	-----	-----

#### To do の變化

do does	did	done
------------	-----	------

#### 不規則動詞の變化

不規則動詞は現在動詞の母音を變化して其過去を構成し過去分詞は n 或は en の語尾を有す今覺へ易からんか爲めに母音變化の同種類のものを集めて下表に之を示す又不規則變化中現在形に ed を附して正式に變化するも差支なきものあり是等は總て言詞の右肩に ( \* ) 印を附して記號とす

不規則動詞の一部は其現在動詞の母音を變化して過去動詞を作り過去分詞には現在の儘にして用ひ或は單に現在形に en を附して構成するものあり

#### (1) 長音の ă に變するもの

現在	過去	過去分詞
Eat	Ate	Eaten
Give	Gave	Given
Come	Came	Come

#### (2) 短音の ă (ア) に變するもの

Bid	Bade	Bidden, bid
-----	------	-------------



Run	Ran	Run
(3) 短音の $\text{æ}$ (エ) に變するもの		
Fall	Fell	Fallen
(4) 長音の $\text{ō}$ (オー) に變するもの		
See	Saw (ō)	Seen
(5) 長音の $\text{ū}$ (ウー) 或は $\text{yū}$ (ew) (ユー) に變するもの		
Slay	Slew	Slain
Blow	Blew	Blown
Crow	Crew	Crown *
Grow	Grew	Grown
Know	Knew	Known
Throw	Threw	Thrown
Draw	Drew	Drawn
(6) 短音の $\text{ʊ}$ (ウ) に變するもの		
Forsake	Forsook	Forsaken
Shake	Shook	Shaken
Take	Took	Taken

不規則動詞の一部は其過去及び過去分詞共に同じ方法にて該現在動詞の母音を變化す下の如し

(1) 長音の  $\text{ā}$  (エー) に變するもの

Lie Lay Lain

(2) 短音の  $\text{æ}$  (ア) に變するもの

Sit	Sat	Sat
Spit	Spat	Spat
(3) 短音の $\text{æ}$ (エ) に變するもの		
Behold	Beheld	Beheld
Hold	Held	Held
(4) 短音の $\text{ī}$ (イ) に變するもの		
Bite	Bit	Bitten, bit
Chide	Chid	Chidden, chid
Hide	Hid	Hidden, hid
Slide	Slid	Slidden, slid
(5) 長音の $\text{ō}$ (オー) に變するもの		
Awake	Awoke *	Awoke *
Bear(持つ carry)	Bore	Borne
Bear(生む to bring forth)	Bore	Born
Break	Broke	Broken
Swear	Swore	Sworn
Tear	Tore	Torn
Worn	Wore	Worn
Cleave(裂く split)	Clove *	Cloven *
Freeze	Froze	Frozen
Shear	Shore *	Shorn *



Speak	Spoke	Spoken
Steal	Stole	Stolen
Weave	Wove	Woven
Abide	Abode	Abode
Choose	Chose	Chosen

(6) 短音の *o* (オ) に變するもの

Seethe	Sod *	Sodden, sod *
Get	Got	Gotten, got
Tread	Trod	Trodden, trod
Shine	Shone	Shone
Shoot	Shot	Shot

(7) 長音の *ou* (オー) に變するもの

Fight	Fought	Fought
-------	--------	--------

(8) 短音の *u* (ウ) に變するもの

Stand	Stood	Stood
-------	-------	-------

(9) 短音の *a* (ア) に變するもの

Hang	Hung *	Hung *
Strike	Struck	Struck
Dig	Dug *	Dug *
Cling	Clung	Clung
Fling	Flung	Flung
Sling	Slung	Slung

Slink	Slunk	Slunk
Spin	Spun	Spun
Stick	Stuck	Stuck
Sting	Stung	Stung
Swing	Swung	Swung
Win	Won	Won
Wring	Wrung	Wrung

(10) 二重母音 *ou* に變るもの

Bind	Bound	Bound
Find	Found	Found
Grind	Ground	Ground
Wind	Wound	Wound

不規則動詞の一部は過去と過去分詞を各々異なる方法を以て變化するものあり

(1) 過去は短音の *a* (ア) に過去分詞は短音の *u* (ウ) に變するもの

Begin	Began	Begun
Drink	Drank	Drunk
Ring	Rang	Rung
Shrink	Shrank	Shrunk
Sing	Sang	Sung



Sink	Sank	Sunk
Spring	Sprang	Sprung
Stink	Stank	Stunk
Swim	Swam	Swum

(3) 過去を長音の **o** (オー) に過去分詞を短音の **i** (イ) に變して **en** を附するもの

Arise	Arose	Arisen
Drive	Drove	Driven
Ride	Rode	Ridden
Rise	Rose	Risen
Shrive	Shrove*	Shriven*
Smite	Smote	Smitten
Stride	Strode	Stridden
Strive	Strove	Striven*
Thrive	Throve*	Thriven*
Write	Wrote	Written

過去を長音の **u** (ユ) に過去分詞を長音の **o** (オー) のに變するもの

Fly	Flew	Flown
-----	------	-------

不規則動詞の一部は皆共に **同じ母音** を有す次の如し

Beat	Beat	Beaten
Let	Let	Let

Bid	Bid	Bidden, bid
Burst	Burst	Burst

次の不規則動詞は **不完全** なり總て又普通の變化の如くにも變化せらる

Wake	Woke*	Waked
Go	Went	Gone
Engrave	Engrove*	Engraven*
Hew	Hew*	Hewn*

正式の變化は其過去及び過去分詞を作るに **-d** (或は **-ed** 或は **-t**) なる語尾變化を爲す最も普通の語尾は **-ed** なり是を規則動詞と云ふ

此種類には大部分の動詞之れに附屬す數例を擧ぐれば

Proceed	Proceeded	Proceeded
---------	-----------	-----------

語尾に **e** ある時は **d** のみを附す

Turn	Turned	Turned
Veto	Vetoed	Vetoed
Cite	Cited	Cited
Precede	Preceded	Preceded
Save	Saved	Saved
Oppose	Opposed	Opposed

終りの子音の直ぐ前の母音の短き時は最後の子音を重ね而して後 **-ed** を附す



[140]

Sip	Sipped	Sipped
Dig	Digged	Digged

語尾か子音により先たれたる y の時は之を i に變して後 -ed を附す

Carry	Carried	Caried
-------	---------	--------

規則動詞にして少しく其變化の異なるものを左に示す  
以下の表中 \* 印あるものは規則變化に従ふて ed を附すも  
差支なきものなり

或場合に於て只 a のみを附け加へ而して原動詞の母音を變  
化するものあり

母音を短縮せるもの

Flee	Fled	Fled
Hear	Heard	Heard
Shoe	Shod	Shod

延長せる母音 e を o に變化するもの

Sell	Sold	Sold
Tell	Told	Told

綴字を變化するもの

Lay	Laid	Laid
Pay	Paid	Paid
Say	Said	Said
Stay	Staid*	Staid

[141]

特殊に變化するもの

Clothe	Clad*	Clad*
Have	Had	Had
Make	Made	Made

發音同じきが故に屢々 -t を -d の代りに使用するもの

Creep	Crept	Crept
Keep	Kept	Kept
Leap	Leapt*	Leät*
Sleep	Slept	Slept
Sweep	Swept	Swept
Weep	Wept	Wept
Dip	Dipt*	Dipt*
Ship	Shipt*	Shipt*
Strip	Stript*	Stript*
Whip	Whipt*	Whipt*
Chop	Chopt*	Chopt*
Drop	Dropt*	Dropt*
Lop	Lopt*	Lopt
Stop	Stopt	Stopt*

&c

&c

母音の a を省き v を f に變して t を附するもの

Bereave	Bereft*	Bereft*
---------	---------	---------



Cleave	Cleft	Cleft*
Leave	Left	Left

語尾かsの時も亦發音同じきが故にtを附するもedを附するも差支なし但しss重り居る時はsを一つにしてtを附す

Pass	Past*	Past*
Bless	Blest*	Blest*
Press	Prest*	Prest*
Lose	Lost	Lost

語尾かlの時も亦tを附すべし

Deal	Dealt	Dealt
Feel	Felt	Felt
Kneel	Knelt	Knelt
Dwell	Dwelt*	Dwelt*
Smell	Smelt*	Smelt*
Spell	Spelt*	Spelt*
Spill	Spilt*	Spilt*

m及nも亦tを附す

Dream	Dreamt*	Dreamt*
Lean	Leant*	Leant*
Mean	Meant	Meant
Pen (閉サス)	Pent*	Pent*
Learn	Learnt*	Learnt*

Burn	Burnt*	Burnt*
------	--------	--------

母音をo(即ちau或はou)に變したる時は亦tを附す

Catch	Caught*	Caught*
Teach	Taught	Taught
Beseech	Besought*	Besought*
Bring	Brought	Brought*
Buy	Bought	Bought
Seek	Sought	Sought
Think	Thought	Thought
Work	Wrought*	Wrought*

若し滑音 (liquid) 即ち -n, l, 或は r によりて先だゝるゝ時は原働詞の語尾 -d は時として -t に變化す

Bend	Bent*	Bent*
Blend	Blent*	Blent*
Lend	Lent*	Lent*
Rend	Rent	Rent
Send	Sent	Sent
Spend	Spent	Spent*
Wend	Went*	—*
Build	Built*	Built
Gild	Gilt*	Gilt*
Gird	Girt*	Girt*



或る Weak verb は只原働詞の長母音を短縮す

Light	Lit*	Lit*
Hide	Hid	Hid
Bleed	Bled	Bled
Betied	Betid	Betid
Breed	Bred	Bred
Feed	Fed	Fed
Lead	Led	Led
Rēad	Rēad	Rēad
Speed	Sped	Sped
Meet	Met	Met
Chide	Chid	Chid

過去並に過去分詞共に現在と同形のものあり

beat	beat	beat
bet	bet	bet
bid	bid	bid

第三 現在働詞を其儘使用し之に **do** の過去 **did** を附して過去を表はすものあり之は *emphasize* とて意味を強める時に使用す現在の働詞へ現在の **do** を附して現在を表はす場合も亦意味を強める時に用らるゝなり例へは

私は行きました

*I did go.*

*I went.*

より其意味甚だ強し

第四 過ぎ去りたる時期の間事柄の連続したるを表はすには現在と同く進行形 (*progressive*) を用ゆ之を進行形の過去 (*progressive past*) といふ例へは

太陽は輝て居つた

*The sun was shining.*

私は彼へ出す手紙を書て居つた時彼が来た

*I was writing him a letter when he come.*

進行形の過去は又過去に於ける將に始まらんとせし行爲及有様を表はす之を過去の直接未來といふ

私々は談話せんとする所なりし

*We were going to tale about.*

第五 過去の疑問形及否定形は現在の疑問形及び否定形と異なるなし但し現在にて **do** を用ゆる場合は **do** を **did** に變すべし

彼は私を愛さざりし

*He loved not me.*

彼は私を愛して居なかつた

*He was not loving me.*

彼は私を愛しませんでした



[146]

He *did not* love me.

彼は私を愛しましたか

Loved he me?

彼は私を愛しましたか

did he love me?

彼は私を愛して居りましたか

Was he loving me?

單語  
名詞

八時	8 o'clock	エート オクロック
飯路	way home	ウェイ ホーム
大尉	captain	キャプテン
少佐	major	メジャー
支那	china	チャイナ
位	rank	ランク
九月	september	セプテンバー
戦役	campaign	キャンペーン
第一軍	first army	ファーストアーミー
病人	invalid	インヴァリッド
中隊	company	カンパニー

[147]

地震	earthquake	アースクエーク
七月	june	ジューン
去年	last year	ラスト イヤー
近隣	neighbourhood	ネーホルフド
掏摸	pickpocket	ピックポケット
間諜	spy	スパイ
衣	clothes	クロース
雉子	pheasant	フェザント
火事	fire	ファイヤ
練兵場	paradeground	パレードグラウンド
容貌	countenances	カオンテナンス
領地	dominion	ドミニオン
紳士	gentleman	ゼントルマン
望遠鏡	spy-glass	スパイグラス
櫂	oar	オーア
草の葉	blade	ブラッド
青蟲	caterpillar	カッターピラー
色	color	カラー
木葉	leaf	リーフ
迅速	rapidity	ラピディチー
四月	April	アプリル
力	power	パワー



優美	sweetness	スウィートネツス
親切	kindness	カインドネツス
仁恵	charity	チャリティー
喜悅	delight	デライト

形容詞

難澁の wretched レツチト

形容詞及び副詞には **comparison** (比較) といるものあり  
 通常のもの指すを **定級 (positive)** といい物と物とを比較して優劣を判するを **comparative degree** (比較級) といい最上を示すを **superative degree** (最上級) といふ而して比較級は定級の言詞(但し綴字の時に限る)の語尾に **er** 附し最大級は **est** を附して構成す

定級	比較級	最上級
wise	wiser	wisest
rich	richer	richest

又一綴以上の形容詞若しくは副詞には comparative に **more** を前置し superative に **most** を前置すべし

定級	比較級	最上級
beautiful	more beautiful	most beautiful

但し **y, le, out** 及 **er** 等にて終る形容詞は二綴語以上なるも亦定級に **er** を最上級に **est** を附す

**able** は二綴字なり然れども其語尾 **le** なるを以て其變化は左の如し

定級	比較級	最上級
able	abler	ablest

**y** にて終る例に左の如し

happy	happier	happiest
-------	---------	----------

**ow** にて終る例は左の如し

shallow	shallower	shallowest
---------	-----------	------------

**er** の例は左の如し

tender	tenderer	tenderest
--------	----------	-----------

此他一綴は語を比較するに **more, most** を用ゆるものあり

ample	more ample	most ample
-------	------------	------------

此他不規則のものあり左の如し

定級	比較級	最上級
----	-----	-----

善き		
good	better	best
well		

悪しき		
bad	worse	worst
evil		
ill		

少さき



little	less	least
多く		
many } much }	more	most
遠き		
far	farther	farthest
(forth)	farther	furthest
近き		
near	nearer	nearest
遅き		
late	{ later { latter	{ latest { last
年老		
old	{ older { elder	oldest eldest
後の		
hind	hinder	hindest
上の		
up	upper	upmost
他の		
out	{ utter { outer	{ uttermost { outmost

以上の内 many は數を示し much は量を示す few は數に

てに many に對し little は量にて much に對す又 farther は距離の遠近のみを示し further は距離のみならず凡ての事柄に用られて層深く進むの意を表はす later, latest は時に關し latter, last は順序の前後に關す又 older, oldest は新古老若兩方に用ひらるれども elder, eldest は老若のみに用ひる

(注意) 最上級の形容詞、副詞には必ず定冠詞の the を附加す

其は最も強き鳥なり

It is the strongest bird.

彼は學校中で一番背の低ひ一番若ひ男兒で御座ります

He is the shortest and youngest boy in our school.

又比較級のみにして定級も最上級もなきものあり此等を下に示す

以前の	anterior
優りたる	superior
劣りたる	inferior
年長の	senior
年若の	junior
先の	prior



副 詞

when は接續副詞と稱して以下の文章を率ひて本文に接合すると同時に本文若しくは本文中の言詞を形容す as, while 及 why, who, which, how, what, 等の疑問詞は皆此の役目をもつ

速かに	soon	スーン
嘗て	ever	エヴァー
早く	early	アーリー
殆ど	almost	オールモスト
最初	at first	アト ファスト

働 詞

昇進する	promote	プロモート
乗船する	embark	エンバーク
防禦する	fortify	フォチファイ
射る	shot	ショット
證據立つる	prove	プルーフ
燃える	burn	バーン
變化する	change	チェンジ
成長する	grow	グロウ
もがく	struggle	ストラッグル

上げる	raise	レイズ
歓迎迎へる	welcome	ウェルカム
ひらめく	flash	フラッシュ
噛みて	nibbling	ニツプリング
消滅する	disappear	ジスアッピアー
開く	burst forth	バースト フォース

現在分詞は現在働詞に ing を附し 過去働詞及過去分詞は現在働詞に ed を附加し(但し不規則變化は之に異なり表に就て見るべし)たるのなれば茲に掲げす

前 置 詞

予は既に in, on, at 及其他必要の前置詞に就て説明する所ありたり今や此書第一巻を終らんとす因て既に學びしものを再び茲に繰返し更に未だ學ばざる緊要の前置詞を説明し以て大要に達せしめん

1. In は 内に含有すといへる意義にして場所、時或は状態の 範圍中 にあることを示す

彼女は家にあり

She is in the house.

今や兵士等は 大困難の中に在り

Soldiers are now in much trouble.

2. On は 上に表面 への意義にして又基礎の意を



合むとあり

多くの書籍が机の上に在り

Many books are *on* the table.

鳥は樹上に在り

A crow is *on* the roof.

我々は米にて榮養す

We feed *on* rice.

**On** は位置を示す所の河の名及東、西、南、北、左、右等の前には特に然り

東京は隅田川上に在り

Tokyo is *on* the Sumida.

私は右方に大なる家を見る

I see a large house *on* the right.

艦隊は亞米利加の海岸に在り

The fleet is *on* the American coast.

江の島は相模の海岸に在り

The Enoshima is situated *on* the coast of Sagami.

**On** は又特殊の行爲事件のありたる時を示す

あの夜大坂城は陥れり

*On* that night Osaka fell.

公の折には士官は禮服を着用す

*On* public occasions, the officers in uniform.

3. **At** は近傍の意義なり

彼等は戸の邊りに立つ

They stand *at* the door.

彼女は煖爐の邊にあり

She is *at* stove.

**At** は又意義の到着する方向を示す

犬は小供を吠ゆる

The dog barks *at* the boy.

大郎は書を眺める

Taro looks *at* the book.

**At** は又割合價值を示す

汽車は一時間十五哩の速力にて走る

The train runs *at* the rate of 15 miles an hour.

4. **In, on, at** の區別

時に就て此の三詞の區別を述べんに

**On** は前題の如し唯た一箇特別の事件を結合して記載する

一定の時に使用さるゝ例へは

此様な静穩なる夜私は彼女と結婚せり

*On* such a tranquil night as this I

have married with her.

十月の十七日に攻撃が始れり

*On* October 17 the attack began.



の如し

**In** は長時間と考へられ其期限の内には他に種々の出来事を包含する時に使用す例へは

此は徳川時代に流行せり

This was fashionable *in* the reign of Tokugawa.

**At** は時の一刻を示す例へは

一時に余は彼を訪問せり

At one o'clock I called upon him.

の如し但し *in the morning, at night* 等は例外なり  
場所に就ての區別但し *on* は關係なし

**At** は家・小區域の地(小都府の如き)又大都府にても其外部と區別したる時は之を使用す例へは

余は千葉に住へり

I live *at* Chiba.

の如し

**In** は包括する一体として考へられたる時に使用す

余は日本に住す

I live *in* Japan.

余は東京に住す

I live *in* Tokyo.

4. **From** は離隔若しくは起點を示す

彼女の家は此處から遠くある

Her house is far *from* here.

十より八を取れ

Take eight *from* ten.

**from** は又原因理由を示す

反亂は不平より來る

Insurrection comes *from* discontent.

5. **For** は理由を示す

向島は櫻花の爲に有名なり

Mukojima is celebrated *for* cherry flowers.

**for** は物の適、不適、用途、味方、方向等凡て充つることを示す

此は私には餘り大ふ御座ります

This is too large *for* me. (不適)

此は勉強するための机なり

This is a table *for* studying. (用途)

私は彼の爲に戦へり

I fought *for* him. (味方)

彼は臺灣に向て出帆せり

He sailed *for* Formosa.

**for** は又代用交換を示す日本語の代りに.としてに當る

目の代りに目

Eye *for* eye.



齒の代りに齒

Tooth for tooth.

手の代りに手

Hand for hand.

足の代りに足

Foot for foot.

余は汝を間諜なりと取り違へた

I took you for a spy.

**For** は又時間・空間・距離の範圍間隙を示す

一日の間

For a day.

一哩の間

For a mile.

5. **For** はにしては、割合にはの意に用ひられ又拘らずと云へる意義にも用ひらる

あの人には年齢の割合には丈高し

He is tall for his age.

凡ての反對にも拘らず彼はそれをなせり

For all oppose he did it.

1. **To** の元來の意義は運動の方向を示めす即ち動詞若しくは他の言詞の類はす行爲、状態の歸着點を顯はす

彼女は學校へ行く

She goes to school.

彼の家は寺院の隣にあり

His house is next to the Buddhist temple.

私の父は彼に書物を與へたり

My father gave the book to him.

カナダは英國に屬す

Canada belongs to England.

横濱までの切符は何程なるや

How much is a ticket to Yokohama?

**To** は又他の種々の場合に用ひらる例せば

私は酒より砂糖を撰む

I prefer sugar to sake.

顔と顔

Face to face.

戸の鍵

Key to the door.

彼女は琴につれて歌ふ

She sings to the Koto.

7. **By** は附近或は傍と云へる意義に用ひらる

私の家は教會の傍にあり

My house is by the church.



彼は士官學校に沿ふて過きたり

I passed *by* the Military Academy.

**By** は又手段・方法を示めす

那の人は毒にて死せり

He died *by* poison.

東京は佛人に支配さる

Tonkin is ruled *by* French.

三代實錄は菅原道真に依て書かれたり

"Sandaijitsuroku" was written *by* Sugahara-michizane.

**By** は又標準を示めすことあり

私の時計では三時なり

It is three o'clock *by* my watch.

**By** は又物の計算の場合に單位を示めすに用ひらる

あの車夫は月きめにて働く

That Jinrikishaman works *by* the month.

彼は反にて布を賣る

He sells cloth *by* the tan.

**By** が時を示めす時は其頃迄に又は間々の意義なり

十時迄に來れ

Come *by* 10 o'clock.

一時間

*By* the hour.

晝間

*By* day.

夜間

*By* night.

一ツ一ツ

one *by* one

段々

Step *by* Step

**By** は又積み重さなりの意に用ひらる

又此部屋は間に間なりと云ふ時に用らる例へは

This room is 4 ken *by* 5 ken

8. **Of** は根原、始まりを示めし従つて離隔を示めす

市より一里以内に

Within a ri *of* the city.

彼等は貴族の血統なり

They are *of* noble blood.

彼は金剛山の南に在り

He is in the south *of* Mount kongo.

**Of** は附屬、所有物を示めす

家の戸

The door *of* the house.



獅子の力

The strength of the lion.

of は同一物を接続す

大坂の市

The city of Osaka.

アメリカ大陸の

The continent of America.

of は又物質、性質等を示めす

鐵の棒

A trick of iron.

牝牛は醜き色の動物なり

The cow is of an ugly colour.

鋼の劍

A sword of steel.

of は又 about の如く關係を示めす

私は其に關して知れり

I know of it.

彼女は琴を好めり

She is fond of the koto.

of は時とはして時間を示めすとあり

of the evening.

(夕方)

of late

(近頃)

9. About は外面・表面・周圍を表はす

汝は汝の周りを眺めよ

You look about you.

About は又關する意味に使用す

旅行に關する書を持つてこい

Bring me a book about traveler.

10. About は一層高き意にして従つて卓越を示す

那の鷄共は地上高く飛ぶ

That fowls fly above the earth

余は途中大陽の光輝に勝れる・光り物の天にある

を見たり

I saw in the way a light from heaven above the  
brightness of the sun.

11. Across は横截る意味に用らる

橋は川を横截して架せらる

A bridge is laid across a river.

12. After は後方の意義なり従つて摸範を示す

夕食後に骨牌をしませう

After supper will you have a game of cards?

續々(一人の後に一人)



[164]

私は手本に倣ふて文章を作りたり

I made a sentence *after* a model.

12. **Against** は 對峙, 反對 を示す

河口に面して一都府あり

There is a town **against** the mouth of a river.

彼等は敵に逆つて進軍せり

They marched *against* the enemy.

13. **Into** は 外方より内部に 入込 む意味なり

家に來れ

Come **into** the house.

14. **Through** は 突通 意味なり

一彈來りて船側を穿つ

A ball passes **through** the side of a ship.

15. **Under** は 蔽はるゝ如き下位 にあるを示す

彼は木の下に立てり

He stood *under* a tree.

従つて壓制支配に對する 服従 の觀念あり

彼は非常の壓制の下に生活せり

He lived *under* extreme oppression.

16. **Until** は 時・場所・或は度 に関して迄の 意

なり

降参の日まで

[165]

*Until* the day of the captivity.

17. **Upon** は **on** と同じ

小山の上

*Upon* the hill

18. **With** は 結合 を示す

私は汝と共に食せん

I will eat *with* you.

又 原因 器具 方便 を示す

彼は棒を以て犬を打てり

He struck the dog *with* a stick.

18. **Within** は 内部 の意なり

此等の戸の内に

*Within* these doors.

此等の五時間以内に

*Within* these five hours.

彼の權内に

*Within* his power.

19. **Along** は 長さに沿ふ 意味なり

我々は大道に沿ふて行きたり

We went *along* the highway.

20. **Before** は 時 及 場所の 前 を示す

余は家の前に立てり



I stood *before* the house.

夕飯前

*Before* supper.

此條約が實行されし前

*Before* this treatise can become of use.

21. **Behind** は 反對の面 を意味し従て後の意あり

其は小山の後にあり

It lies *behind* a hill.

**After** は順序を撰へとも **behind** は位置を選ぶ

彼等は續々来る

They comes one *after* another.

花園は家の後にあり

A garden lies *behind* a house.

又 **after** は run after の如く運動の意あれども

**behind** には其意なし

22. **Down** は 降る方向を示す

其は井戸の下に在りたり

It was *down* a well.

23. **Beneath** は 直接上に在る 物に對して 下

を示す

彼は石の下に横れり

**Beneath** a stone he lies.

**Below** は 下 の意なり

月の下

*Below* the moon.

25. **Beside** は 側 の意義なり

彼の側に彼の弓が懸れり

His bow hangs **beside** him.

26. **Between** は 中間の間隔を示す

品川は東京と川崎の間に在り

Shinagawa is **between** Tokyo and Kawasaki.

27. **Without** は 外側以内てなき の意味なり

門外に

**Without** the gate.

なくて・除きて・離れて・意なり

賢人は規則なしに其を行ふ

Wise men will do it **without** a law.

## 練 習

- (1) 予は數年前彼の人に遇ふした
- (2) 君は前の日曜に彼を訪問しましたか
- (3) はい朝の八時に訪問しました
- (4) 彼は其時在宅でしたか



- 5) いえ、居りませんでした。予は歸り途に彼に遇ひました。
- (6) 支那の捕虜は悉皆先月送還しました。
- (7) 彼等は歸國するを喜びませんでしたか。
- (8) はい。喜びませんでした。却て寧ろ悲しんでゐました。
- (9) 彼の人々は支那に居る時には大尉でしたが。
- (10) 初め大尉であつたろう。ですが直きに小佐の位に昇進されました。
- (11) 君は此迄君が朝まだ寝て居る時に知更鳥コトヅリの歌ふを聞きませんでしたか。
- (12) はい。僕は殆んど光るくなると直くに大層早くあの鳥の歌ふを聞きしました。
- (13) 君は何時歸國しましたか。
- (14) 彼はホノル、港で浪波艦に乗船しました。
- (15) どれで何時横濱へ着きましたか。
- (16) 彼は九月三日に着きました。
- (17) 第一軍の戦役中私共の中隊には病人が殆んど三十人に上りました。
- (18) 彼等は我軍を防ぐ爲めにあの場所に防備を施しました。
- (19) 去月六日には何處に地震がありましたか。
- (20) 私が此家に滞在して居る時に近處から火事が出た。

- (21) 私が街道を歩いて居つた時に澤山の拘模が捕まりました。
- (22) 私共が彼の人々の事を話して居つた時に彼の人々が來た。
- (23) 間諜は衣中にピストルを持つていました。
- (24) 君が出立した時に雨が降つて居ませんでしたか。
- (25) 君は僕が話して居つた時に外の事を思つて居つたか。
- (26) 僕は昨日雉子を二羽射取りました。
- (27) 私は犬が地上に銃殺されて横臥して居るを發見せり。
- (28) 日本の軍人は總て晩近の戦争で死を恐れなひといふことを證據立てた。
- (29) あの人の家は去年の火事に焼けた。
- (30) 三崎町は此の間まで練兵場であつた。
- (31) 私が丁度彼に其を言はんとせし時に彼は容色を變した。
- (32) あの樹の枝は道路を横過つて其眞直に生長して居つた。それで伐倒さなければならぬ。
- (33) 前日彼は利根川で小舟を引つて居つた。
- (34) 難澁な人が道をのたぐつて居つた。
- (35) 露國の兵士は絶へず支那の領地を脅かして居る。



- (36) 中山君は驚て彼の長男の顔に眼を注いた  
 (37) 小丘の頂で私共は望遠鏡を持つて居る紳士に出遇  
 ました其人は私を歓迎してくれました  
 (38) 襪か月の光に旋轉して木葉の如くに閃めひた  
 (39) 此の夏木か緑葉を以て蔽はれて居る時に園中に種  
 々な色の大きな青虫か居つた  
 (40) 毎日々々朝から晩まで緑葉を食つて居つた而して  
 葉か續々非常の迅速を以てなくなつて來た  
 (41) 四月には樹木が生々したる緑葉を開き出し草は暖  
 き雨の力にて鮮やかに見えた  
 (42) 五月には多くの色の花か咲て芳はしき香か空氣を  
 満たし其の華麗な色が野や園を輝した  
 (43) 支那の皇帝堯は寛仁の入であつた彼は親切なる行  
 爲をなして大に喜んだ

- (1) I saw him a few years ago.  
 (2) Did you call on him last Sunday?  
 (3) Yes, I did so at 8 o'clock in the morning.  
 (4) Was he at home then?  
 (5) No, he was not. I met him on my way home.  
 (6) All the captured Chinese were sent back, last month.  
 (7) Were they not glad to go home?

- (8) No, they were not, they were rather grieved at it.  
 (9) Was he a captain or major when in China?  
 (10) He was a captain at first, but he was soon promoted  
 to the rank of major.  
 (11) Did you ever hear the robins sing in the morning  
 when you were in bed?  
 (12) Yes, I heard her sing very early, almost as soon  
 as it is light.  
 (13) When did Mr. A return home?  
 (14) He embarked on the "Naniwa" at the port  
 Honolulu.  
 (15) And when did he arrive at Yokohama?  
 (16) He arrived there on the 3 September.  
 (17) In the companion of the first army, the invalids of  
 our company amounted to about 30.  
 (18) They fortified that place to keep off our army.  
 (19) Where was a great earthquake in June last year?  
 (20) While I was staying at his house a fire broke out  
 in the neighbourhood.  
 (21) Many pickpockets were arrested when I was walking  
 in the street.  
 (22) Just as we speaking of him, he came.



[172]

- (23) The spy was carrying a pistol in his clothes.
- (24) Was it not raining when you started.
- (25) Were you not thinking some thing else when I was speaking?
- (26) I shot two pheasants yesterday.
- (27) I found a day shot dead and lying on the ground.
- (28) All the japanese soldiers proved that they do not fear death during the late war.
- (29) His house burned in the late fire.
- (30) The Misaki street was only a paradeground a few years age.
- (31) He changed countenance, when I was just going to say it to him.
- (32) That tree's branches were growing right out across the road, and it had to be cut down.
- (33) The day before, he was pulling the boat in the Tone.
- (34) A wretched man was struggling up the road.
- (35) The soldiers of Rusia was constantly menacing the chinese dominions.
- (36) Mr. Nakayama raised his eyes in surprise to the face of his eldest son.

[173]

- (37) On the hill-stop we met an old gentle-man with a spy-glass, who welcomed me.
  - (38) The oars flashed as the blades turned up to the moonlight.
  - (39) Last summer, when the trees were covered with green leaves there appeared in the garden a large caterpillar of many colors.
  - (40) All day long it was nibbling the green leaves, and leaf after leaf disappeared before it with wonderful rapidity.
  - (41) In April the trees burst forth with their bright green leaves, and the grass looked fresh under the power of the warm rains.
  - (42) In May the many-tinted flowers appeared filling the air with their sweetness, and brightening the fields and gardens with their gay colors.
  - (43) Wan, Eemperor of China, was a generous, warm-hearted man, who took great delight in doing act of kindness and charity.
-



## 第九章 直説法十分過去

(Indicative past perfect)

第一 直説法の十分過去は過去動詞にて示したる行為事件の以前に終了し若しくはく終了せざるも其以前より起りつゝある行為事件を示すものにして之を構成するには *had* なる助動詞に過去分詞を附加して形成す

第二 直説法の十分過去の受働形及進行形は十分現在 (*present perfect*) と同じ但し現在に在つては *have (has)* を用ゆれども過去に在つては *had* を用ゆるの異なるのみ

瀛車は私が停車場に到着した以前に出發したり

The train *had started* before I arrived the station.

我々が井戸を探して居つた時に一つの井戸を見出した

We *had been looking* for water when we found a well.

## 單 語

## 名 詞

戦開	battle	バトル
平原	plāin	プレーン
難船	ship-wreck	シツブレック

## 形 容 詞

壯健なる	healthy	ヘルシー
------	---------	------

## 動 詞

決す	make up	メイク アップ
彷徨ふ	roam	ローム

## 演 習

- (1) 天王は前に逃れよと勧められたれども彼は之を否みたり
- (2) X 君は熱病を病んだ前には壯健でした
- (3) 我々は月の昇るまで平原を彷徨ふて居つた
- (4) 彼は其時迄臺灣に行ふとは思はなかつた
- (5) 彼は泣いて居つた小女を見ました何となれば彼女は杯



[176]

を落して破したからです

- (6) 私は昨日迄戸内に居ました
- (7) 私は彼を止めようと試みましたが彼は既に行く決心しました
- (8) 敵の我々が既に退却した事を知りませんでした
- (9) 彼は息子が戦争で殺されたことを告げられました
- (10) 我々は彼は難船で死んだと思ひました
- (1) The heavenly king had been urged to escape but he declined.
- (2) Mr. X had been healthy before he had a fever.
- (3) We had been roaming over the plain till the moon was up.
- (4) He had not intended to go to Formosa until then.
- (5) He saw a little girl who was crying, because she had dropped and broken a glass.
- (6) I had been within door till yesterday.
- (7) I tried to stop him, but he had already made up his mind to go.
- (8) The enemy did not know that we had retired already.
- (9) He was told that his son had been killed in the battle.
- (10) We thought that he had died in the ship-wreck.



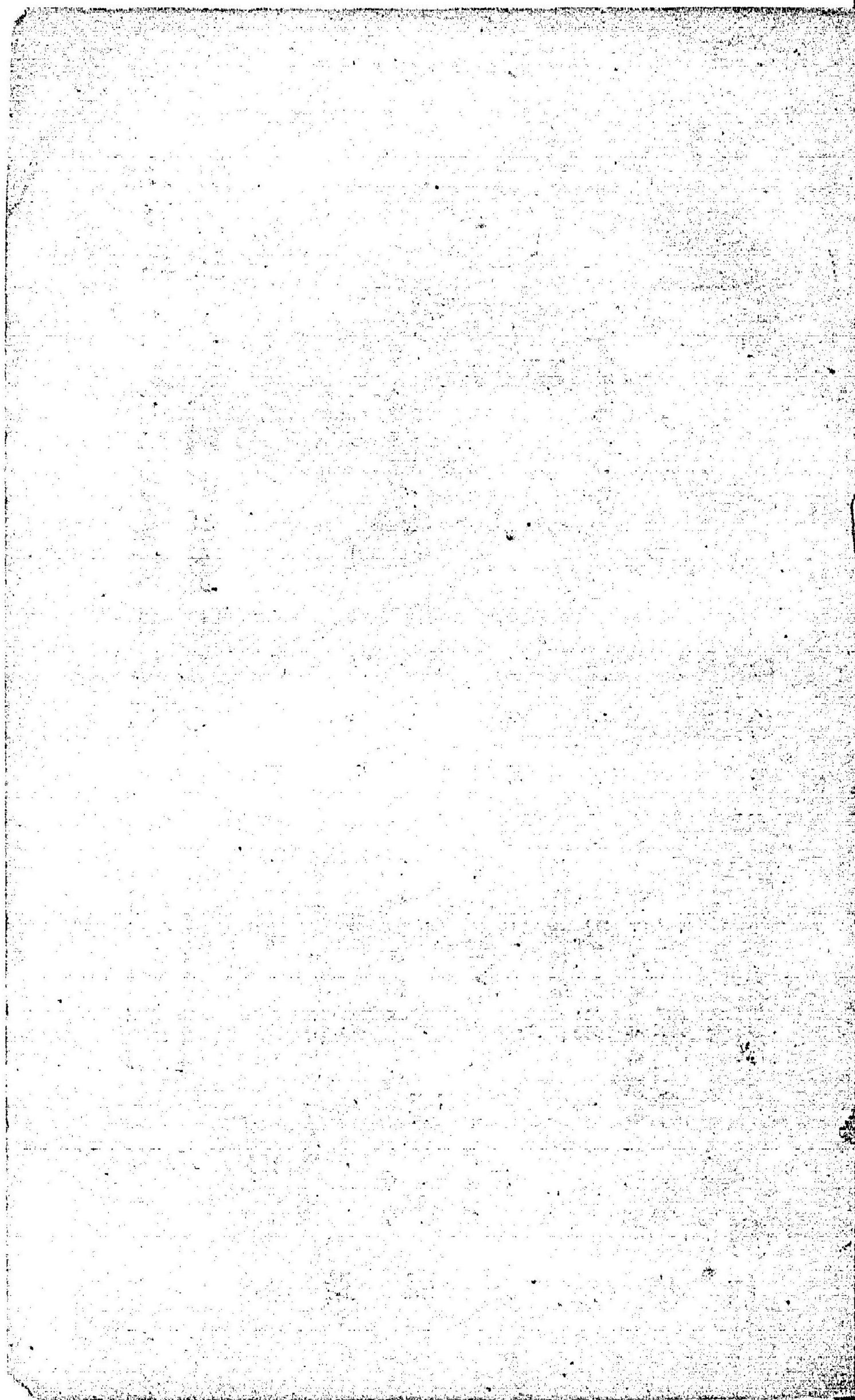
明治三十一年三月三十日印刷  
 明治三十一年四月四日發行

著者 發行所 全發行所 印刷者 全印刷所

正價金三十錢

李花山莊  
 神奈川縣横濱市松ヶ枝町三十番地  
 天野保之助  
 東京市京橋區出雲町一番地  
 若林鑒太郎  
 東京市芝區宮本町二十九番地  
 石崎安藏  
 神奈川縣横濱市松ヶ枝町三十番地  
 弘集堂書店  
 東京市京橋區出雲町一番地  
 警醒社書店  
 東京市芝區宮本町二十九番地  
 共益商社印刷部





18



083287-000-0

特27-947

实用英和会话文典

李花山莊／著

M31

DAH-0782





欠

MISSING